

Microsoft.DP-420J.v2026-09-04.q88

試験コード：	DP-420J
試験名称：	Designing and Implementing Cloud-Native Applications Using Microsoft Azure Cosmos DB (DP-420日本語版)
認証ベンダー：	Microsoft
無料問題の数：	88
バージョン：	v2026-09-04
ページの閲覧量：	102
問題集の閲覧量：	888
https://www.jpnsshiken.com/shiken/Microsoft.DP-420J.v2026-09-04.q88.html	

質問: 1

container1 という名前のコンテナをホストする Azure Cosmos DB データベースがあります。

TTL 値が明示的に設定されていない限り、contained に保存されているアイテムが期限切れにならないようにする必要があります。どうすればよいでしょうか？

A. DefaultTiwwroLive プロパティを削除します。

B. DefaultTineToLive プロパティを -1 に設定します。

C. DefaulttimtoLive プロパティを e に設定します。

D. DefaulttiwioLive プロパティを null に設定します。

正解: B ([コメントを发表する](#))

質問: 2

Azure サブスクリプションがあります。サブスクリプションには、Devices という名前のコンテナをホストする account1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントが含まれていま

す。Devices には、type という名前のパーティション キーがあります。

```
SELECT d.deviceName
FROM d
WHERE d.deviceId = 'ABC102'
AND d.type = 'car'
AND d.importanceId = 4
```

クエリのリソース使用率を評価しています。クエリはどのように実行されますか？

A. 並列クロスパーティションクエリとして

B. パーティション内クエリとして

C. クロスパーティションクエリとして

正解: C ([コメントを发表する](#))

質問: 3

Container1 という名前のコンテナを含む Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあります。

Container1 のデフォルトのインデックスポリシーに複合インデックスを追加します。このインデックスの定義は次のとおりです。

名 ASC)、年齢 ASC)

Container1 に対して次のクエリを実行する予定です。

```
SELECT *
FROM c
WHERE c.firstName = "John"
AND c.age > 21
AND c._ts < 1612213196
```

追加のインデックスを追加して、クエリのパフォーマンスを最適化する必要があります。

追加インデックスをどのように完成させる必要がありますか？ 回答するには、回答エリアで適切なオプションを選択してください。注: 正しい選択ごとに 1 ポイントが加算されます。

Answer Area

Index components:

age ASC,

firstName DESC

正解:

Answer Area

Index components:

age ASC,

firstName DESC



Explanation:

Answer Area

Index components:

age ASC,

firstName DESC

質問: 4

App2 を実装するとき使用する接続モードを特定する必要があります。ソリューションは計画された変更をサポートし、ビジネス要件を満たさなければなりません。どの接続モードを特定する必要がありますか？

- A. HTTPS 経由のダイレクト モード
- B. ゲートウェイ モード (HTTPS を使用)
- C. TCP 経由のダイレクト モード

正解: C (コメントを发表する)

Scenario: Develop an app named App2 that will run from the retail stores and query the data in account2.

App2 must be limited to a single DNS endpoint when accessing account2.

By using Azure Private Link, you can connect to an Azure Cosmos account via a private endpoint. The private endpoint is a set of private IP addresses in a subnet within your virtual network.

When you 're using Private Link with an Azure Cosmos account through a direct mode connection, you can use only the TCP protocol. The HTTP protocol is not currently supported.

Reference:

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/how-to-configure-private-endpoints>

質問: 5

Azure Cosmos OB for NoSQL アカウントにデータを保存するグローバル e コマース アプリケーションがあります。アカウントはマルチリージョン書き込みに対応するように設計されています。新しいコンテナのカスタム競合解決ポリシーのストアド プロシージャを作成する必要があります。削除によって競合が発生した場合は、常に削除を優先する必要があります。ストアド プロシージャ関数でどのパラメータを確認する必要がありますか？

- A. 墓石です
- B. 既存
- C. 受信 1 項目
- D. conflictingItems

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 6

Azure Cosmos DB for NoSQL データベースがあり、Container1 という名前のコンテナがホストされています。Container1 の DefaultTimeToLive プロパティは -1 です。Container1にアイテムを挿入しました。挿入されたアイテムのプロパティは1000です。アイテムはいつ自動的に削除されますか？

- A. アイテムが最後に変更されてから1.000秒後
- B. アイテムが最後にアクセスされてから1,000秒後
- C. アイテムが最後にアクセスされてから1秒後
- D. 決していない

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 7

あなたはApp1、App2、App3という名前の3つのアプリを設計しています。各アプリはそれぞれ別のAzure Cosmos DB for NoSQLアカウントを使用します。これらのアプリには、以下の整合性要件があります。

- * App1: 読み取りでは、常に同じセッション中にコミットされたアイテムの最新のコミットバージョンを返す必要があります。
- * App2: 読み取りでは、コミットが別のセッション中に発生した場合でも、常にアイテムの最新のコミット済みバージョンを返す必要があります。
- * App3: 書き込み遅延は最小限に抑える必要があり、データの古さは許容範囲内とする。

各 Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに対して、既定の整合性レベルを推奨する必要があります。ソリューションは同時実行性を最大化する必要があります。

各アプリのアカウントにはどのような設定を推奨しますか？回答するには、適切な整合性レベルを正しいアプリにドラッグしてください。各整合性レベルは、1回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Consistency levels

- Bounded Staleness
- Consistent Prefix
- Eventual
- Session
- Strong

Answer Area

App1:

App2:

App3:

Microsoft

正解:

Consistency levels

- Bounded Staleness
- Consistent Prefix
- Eventual
- Session
- Strong

Answer Area

App1:

App2:

App3:

Microsoft

Explanation:

Consistency levels

- Bounded Staleness
- Consistent Prefix
- Eventual
- Session
- Strong

Answer Area

App1:

App2:

App3:

Microsoft

質問: 8

サーバーレス SQL プールを含む workspace1 という名前の Azure Synapse Analytics ワークスペースがあります。

運用データを保存する Azure Table Storage アカウントがある。

Table Storage アカウントを Azure Cosmos DB for NoSQL に置き換える必要があります。ソリューションは次の要件を満たす必要があります。

* サーバーレス SQL プールからのクエリをサポートします。

- * クエリを実行するときの分析コンピューティングに対してのみ料金が発生します。
- * 分析プロセスが確実に行われるようにする

注: 運用プロセスに影響します。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクションのリストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

The screenshot shows a Microsoft Azure portal interface. On the left, under the heading "Actions", there is a list of five tasks: "In workspace1, create a dedicated SQL pool.", "In the Azure Cosmos DB account, create a table that has unlimited storage capacity.", "Create an Azure Cosmos DB for NoSQL account.", "Enable Azure Synapse Link.", and "Create a database and a container that has Analytical store enabled." To the right of this list are two circular arrows, one pointing right and one pointing left. On the right side of the interface is the "Answer Area", which is currently empty. To its right are two circular arrows, one pointing up and one pointing down. A large, faint "ipnshiken.com" watermark is visible across the center of the image.

正解:

This screenshot shows the same Microsoft Azure portal interface as the previous one, but with the "Answer Area" populated. The three actions that have been moved are: "Create an Azure Cosmos DB for NoSQL account.", "Enable Azure Synapse Link.", and "Create a database and a container that has Analytical store enabled." These three actions are listed in the "Answer Area" in that specific order from top to bottom. The "Actions" list on the left now only contains the two remaining tasks: "In workspace1, create a dedicated SQL pool." and "In the Azure Cosmos DB account, create a table that has unlimited storage capacity." The circular arrows and the "ipnshiken.com" watermark are also present.

Explanation:

This screenshot shows the Microsoft Azure portal interface with the "Answer Area" containing three numbered steps: 1. "Create an Azure Cosmos DB for NoSQL account.", 2. "Enable Azure Synapse Link.", and 3. "Create a database and a container that has Analytical store enabled." The "Actions" list on the left remains the same as in the previous screenshots. The circular arrows and the "ipnshiken.com" watermark are also present.

質問: 9

account1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあり、このアカウントには 1 つの読み取り/書き込みリージョンと 1 つの追加の読み取りリージョンがあります。Account1 は、強力なデフォルト整合性レベルを使用します。

account1 にリクエストを送信するときに最終整合性レベルを使用するアプリケーションがあります。

アプリケーションからの書き込みはどのように処理されるのでしょうか?

- A. 書き込みには強い整合性レベルが使用されます。
- B. Azure Cosmos DB はアプリケーションからの書き込みを拒否します。
- C. レプリケーション中の書き込み順序は保証されません。

D. 書き込みでは最終整合性レベルが使用されます。

正解: ([正解を表示します](#))

This is because the write concern is mapped to the default consistency level configured on your Azure Cosmos DB account, which is strong in this case. Strong consistency ensures that every write operation is synchronously committed to every region associated with your Azure Cosmos DB account. The eventual consistency level that the application uses only applies to the read operations. Eventual consistency offers higher availability and better performance, but it does not guarantee the order or latency of the reads.

質問: 10

Azure Key Vault に格納されているカスタマー マネージド キーを使用する Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントを作成する予定です。

Azure Cosmos DB がキーにアクセスできるようにするには、Key Vault でアクセス ポリシーを構成する必要があります。

アクセス ポリシーで有効にする必要がある 3 つのアクセス許可はどれですか?それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

A. ラップキー

B. 取得

C. リスト

D. 更新

E. 署名

F. 確認します

G. ラップ解除キー

正解: ([正解を表示します](#))

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/how-to-setup-cmk>

質問: 11

コンテナ 1 という名前のコンテナを含む Azure Cosmos DB データベースがあります。コンテナ 1 コンテナは最大 20,000 RU/秒で構成されており、現在 240 GB のデータが含まれています。

現在の使用状況に基づいて、container1 のコストを見積もる必要があります。

何 RU/秒が請求されますか?

A. 20,000

B. 24000

C. 240

D. 4.000

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 12

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに、注文に関するデータを格納するコンテナがあります。

以下は注文書のサンプルです。



ドキュメントは最大 2 KB です。

毎日100万件の注文を受ける予定です。

顧客は過去の注文履歴を頻繁に確認します。

パーティション キーとして order-Date を使用するかどうかを評価しています。

パーティション キーとして order-Date を使用した場合の 2 つの効果は何ですか? それぞれの正解は完全なソリューションを示します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

- A. ホット パーティションは常に存在します。
- B. パーティションあたりの最大ストレージ容量を超えます。
- C. パーティション キー値の最大数を超えます。
- D. クエリはパーティション間で実行されます。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 13

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントを持っている。

リージョン フェールオーバー ポリシーに対する最近の変更を一覧表示する Azure Monitor クエリを作成する必要があります。

どの Azure Monitor テーブルにクエリを実行する必要がありますか?

- A. CDBPartitionKeyStatistics
- B. CDBControlPlaneRequests
- C. CDBQueryRunTimeStatistics
- D. CDBDataPlaneRequests

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 14

Azure Cosmos DB for NoSQL データベースがあり、その中に Contained という名前のコンテナがあります。Contained には製品の詳細が格納されています。Query1 という名前のクエリがあり、その中に次のステートメントが含まれています。

```
SELECT p.ProductGroup, p.Color, p.ProductName, p.ListPrice
FROM products AS p
WHERE p.ProductName = "100mm Return Valve"
AND p.ListPrice > 120
```

カスタムインデックスを使用してQuery1のパフォーマンスを最適化する必要があります。どのインデックスコンポーネントの組み合わせがQuery1を最適化するのでしょうか?

- A. 定価降順、商品名昇順、商品グループ昇順、色昇順
- B. 定価昇順、商品名昇順、商品グループ昇順、色昇順
- C. 定価 ASC、商品名 ASC
- D. 商品名(降順)、定価(昇順)

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 15

次の図に示すように、NoSQL アカウント用の Azure Cosmos DB のバックアップを構成します。

Search (Ctrl+/)

- Default consistency
- Backup & Restore
- Firewall and virtual networks
- Private Endpoint Connections
- CORS
- Dedicated Gateway
- Keys
- Advisor Recommendations
- Add Azure Cognitive Search
- Add Azure Function
- Advanced security (preview)
- Identity

Backup Interval
How often would you like your backups to be performed?
120 Minute(s) 60-1440

Backup Retention
How long would you like your backups to be saved?
12 Hours(s) 8-720

Copies of data retained 6

Backup storage redundancy ★ ⓘ
☒ Geo-redundant backup storage
☐ Zone-redundant backup storage
☐ Locally-redundant backup storage

By default, Azure Cosmos DB backups 2 copies of data for free. charged based on the pricing details here ↗

ドロップダウン メニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各ステートメントを完成させる回答の選択肢を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

The current backup policy provides protection for [answer choice].

In case of emergency, you must [answer choice] to restore the backup.

1 hour
2 hours
6 hours
12 hours
3 days

create a support ticket
use the Backup & Restore settings
use the Point in Time Restore settings

正解:

Answer Area

The current backup policy provides protection for [answer choice].

In case of emergency, you must [answer choice] to restore the backup.

1 hour
2 hours
6 hours
12 hours
3 days

create a support ticket
use the Backup & Restore settings
use the Point in Time Restore settings

Explanation:

Box 1 = The current backup policy provides protection for: 2 Hours

Azure Cosmos DB automatically takes backups of your data at regular intervals. The backup interval and the retention period can be configured from the Azure portal. You can also choose between two backup modes:

periodic backup mode and continuous backup mode. Periodic backup mode is the default mode for all existing accounts and it takes a full backup of your database every 4 hours by default. Continuous backup mode is a new mode that allows you to restore to any point of time within either 7 or 30 days 1 .

For your scenario, based on the exhibit, you have configured a backup for an Azure Cosmos DB for NoSQL account using the periodic backup mode with a backup interval of 1 hour and a retention period of 2 hours.

This means that Azure Cosmos DB will take a full backup of your database every hour and keep only the latest two backups. Therefore, the current backup policy provides protection for 2 hours .

Box 2: In case of emergency, you must (answer choice) to restore the backup = create a support ticket Azure Cosmos DB automatically takes backups of your data at regular intervals. You can configure the backup interval and the retention period from the Azure portal. You can also choose between two backup modes: periodic backup mode and continuous backup mode. Periodic backup mode is the default mode for all existing accounts and it takes a full backup of your database every 4 hours by default. Continuous backup mode is a new mode that allows you to restore to any point of time within either 7 or 30 days 1 .

For your scenario, based on the exhibit, you have configured a backup for an Azure Cosmos DB for NoSQL account using the periodic backup mode with a backup interval of 1 hour and a retention period of 2 hours.

This means that Azure Cosmos DB will take a full backup of your database every hour and keep only the latest two backups. In case of emergency, you must create a support ticket to restore the backup. This is the answer to your question.

To restore data from a periodic backup, you need to create a support request with Azure Cosmos DB team and provide the following information:

- * The name of your Azure Cosmos DB account
- * The name of the database or container that you want to restore
- * The date and time (in UTC) that you want to restore from
- * The name of the target Azure Cosmos DB account where you want to restore the data
- * The name of the target resource group where you want to restore the data The Azure Cosmos DB team will then initiate the restore process and notify you when it is completed 2 .

質問: 16

Azure Cosmos DB SQL API Core (SQL) アカウントに開発に使用されるデータベースがあります。

データベースはバッチ処理で 1 日に 1 回変更されます。

最後のバッチプロセスが失敗した場合にデータベースを復元できることを確認する必要があります。ソリューションではコストを最小限に抑える必要があります。バックアップ設定はどのように行うべきですか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Backup interval

▼

1 hour

24 hours

1 weeks

Backup retention

▼

2 days

1 week

30 days

正解:

Backup interval

▼

1 hour

24 hours

1 weeks

Backup retention

▼

2 days

1 week

30 days

Explanation:

Backup interval

▼

1 hour

24 hours

1 weeks

Backup retention

▼

2 days

1 week

30 days

Microsoft

有効的な**DP-420J**問題集はJPNTTest.com提供され、**DP-420J**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**DP-420J**試験問題集を提供します。JPNTTest.com DP-420J試験問題集はもう更新されました。ここで**DP-420J**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/DP-420J-mondaishu> **281**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

あなたはAzure Cosmos DB for NoSQLソリューションを設計しています。

次の表に示すように、自動車修理用パンの製品データを格納するContainer1という名前の新しいコンテナを作成する予定です。

Column name	Data type	Data length in bytes
Car Brand	String	30
Car Model	String	30
Model Year	Int	4
Part Name	String	50
Short Description	String	500
Storage Location	String	50

データは、次の表に示すように、Container1に保存されます。

Car Brand	Car Model	Model Year	Part Name	Storage Location	Short Description
Ford	Escort	1999	Door Handle	Shelf 5, Bin 3	Description1
Ford	Escort	2000	Door Handle	Shelf 5, Bin 5	Description2
Ford	Escort	2001	Door Handle	Shelf 32, Bin 17	Description3
Ford	Escape	1999	Door Handle	Shelf 43, Bin 12	Description4
Chevrolet	Pacer	1975	Door Handle	Shelf 19, Bin 12	Description5
Chevrolet	Bolt	2024	Trunk Release	Shelf 20, Bin 17	Description6

データベースのデータパーティショニングソリューションを推奨する必要があります。そのソリューションは、I/O競合を最小限に抑えるためにワークロードを分散させるものでなければなりません。物理パーティションキーと論理パーティションキーには、どちらの列を推奨しますか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

Physical partition key:

Car Brand

Car Model

Model Year

Part Name

Storage Location

Logical partition key:

Car Brand

Car Model

Model Year

Part Name

Storage Location

正解:

Answer Area

Microsoft

Physical partition key:

Car Brand

Car Model

Model Year

Part Name

Storage Location

Logical partition key:

Car Brand

Car Model

Model Year

Part Name

Storage Location

Explanation:

Microsoft

Physical partition key: Part Name

Logical partition key: Part Name

質問: 18

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントにコンテナがあります。1 秒あたり 30,000 要求ユニット (RU/秒) の手動スループットを持つデータベース。消費電流の詳細を次の表に示します。

PartitionKeyRangeID による正規化された RU 消費量 (%)



ドロップダウン メニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各質問に答える回答の選択肢を選択します。注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area



Microsoft

Each partition supports throughput of up to [answer choice] RU/s.

5,000
5,000
10,000
20,000
30,000

The container can scale to [answer choice] RU/s without a partition split.

60,000
10,000
20,000
30,000
60,000

正解:

Answer Area



Microsoft

Each partition supports throughput of up to [answer choice] RU/s.

5,000
5,000
10,000
20,000
30,000

The container can scale to [answer choice] RU/s without a partition split.

60,000
10,000
20,000
30,000
60,000

Explanation:

Answer Area

Microsoft

Each partition supports throughput of up to [answer choice] RU/s. 5,000

The container can scale to [answer choice] RU/s without a partition split. 60,000

質問: 19

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあり、その中に Container1 という名前のコンテナがあります。Container1 内のアイテムは、次の形式で保存されます。

```

{
  "id": "Family1",
  "parents": [
    { "familyName": "Smith", "givenName": "Robert" },
    { "familyName": "Jones", "givenName": "Sarah" }
  ],
  "children": [
    {
      "familyName": "Smith",
      "givenName": "Jesse",
      "gender": "female", "grade": 1,
      "pets": [
        { "givenName": "Mo" },
        { "givenName": "Nora" }
      ]
    },
    {
      "familyName": "Jones",
      "givenName": "Lisa",
      "gender": "female",
      "grade": 8
    }
  ]
}

```

Family1に属する子供たちの名(Given)と姓(Family)を返すクエリを作成する必要があります。
 コードをどのように完成させればよいでしょうか？回答するには、回答欄で適切な選択肢を選んでください。
 注：正解ごとに1ポイント獲得できます。

Answer Area

```

SELECT c.givenName, c.familyName
FROM Families f
JOIN c IN f
WHERE f.id = 'Family1'

```

children
 familyName
 id
 parents

f.id
 c.id
 f.id
 familyName
 name

正解:

Answer Area

SELECT c.givenName, c.familyName

FROM Families f

JOIN c IN f.

WHERE f.id = 'Family1'

children

familyName

id

parents

f.id

c.id

f.id

familyName

name

Microsoft

Explanation:
Answer Area

SELECT c.givenName, c.familyName

FROM Families f

JOIN c IN f.

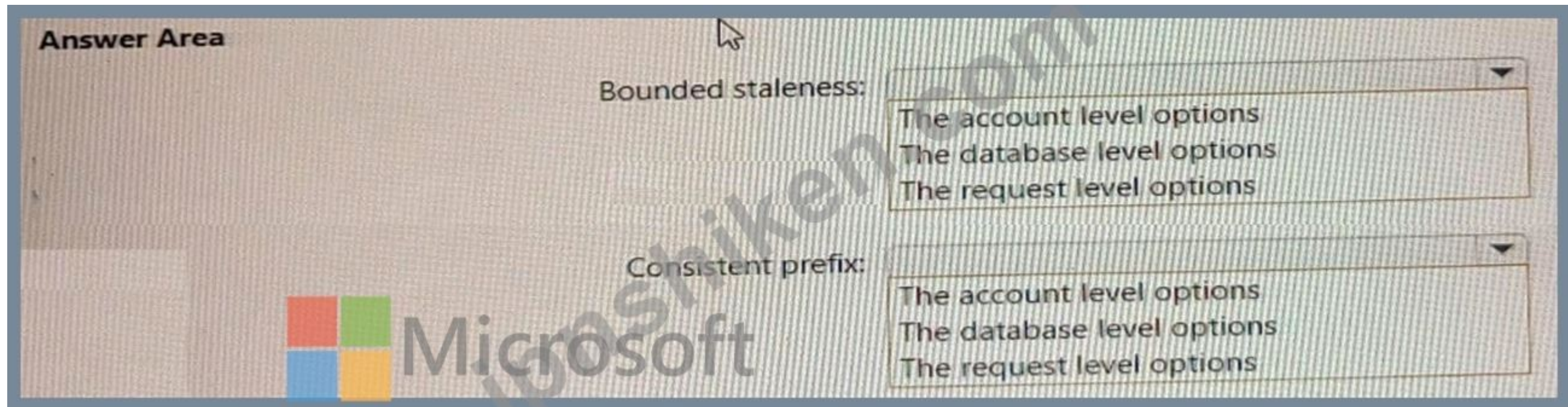
WHERE f.id = 'Family1'

children

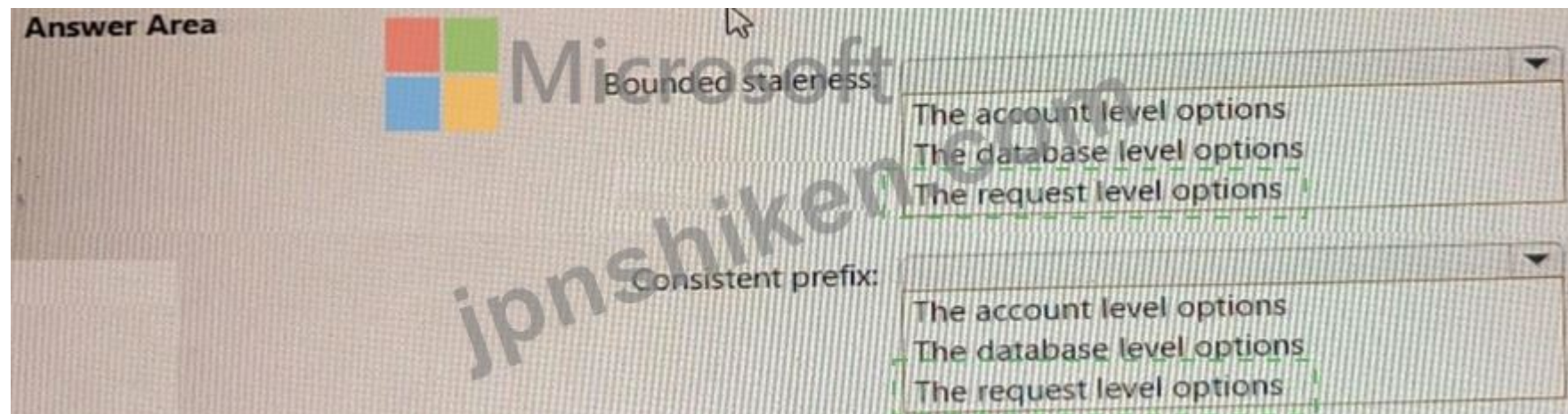
Microsoft

質問: 20

セッションの既定の整合性レベルを持つ account1 という名前の Azure Cosmos DB アカウントがあります。
App1 という名前のアプリがあります。
App1 の読み取り操作で、期限付きの失効性または一貫したプレフィックスの一貫性のいずれかを要求できることを確認する必要があります。
各整合性レベルで何を変更する必要がありますか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。



正解:



Explanation:

Box 1 =The request level options

Azure Cosmos DB offers five well-defined consistency levels: strong, bounded staleness, session, consistent prefix and eventual. You can configure the default consistency level on your Azure Cosmos DB account at any time². The default consistency level applies to all databases and containers under that account¹. You can also override the default consistency level for a specific request by using the request options².

Box 2 =The request level options

To modify the consistency level of a read operation in Azure Cosmos DB, you can use request-level options to override the account's default consistency setting. Therefore, to ensure that the read operations of App1 can request either consistent prefix or session consistency, you need to modify the request-level options for each operation. Reference: -<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/consistency-levels>

質問: 21

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあり、その中に DB1 という名前のデータベースがあります。ユーザーは、DB1 に対して次のクエリを実行します。

```
SELECT *
FROM c
WHERE c.bikeParts = "Frame, Chain, Peddles"
ORDER BY c.bikeParts ASC
```

レコードセットにインデックスを追加します。

インデックスの使用を最適化するには、クエリのORDER BY構文を変更する必要があります。ただし、結果セットは変更しないでください。

どの構文を使用すべきですか？

どの構文を使用すべきですか？

A. 並べ替え c.bikeParts 降順、c._ts 昇順

B. c._ts MSC、c.bikeParts ASC で注文

C. c.bikeParts ASC、c._ts ASC による注文

D. c._ts 昇順、c.bikeParts 降順で並べ替え

正解: **C** ([コメントを发表する](#))

質問: **22**

コンテナという名前のコンテナがあります。Azure Cosmos DB for NoSQL アカウント内。

User1 という名前のユーザーに、ロールベースのアクセスを使用して項目を container1 に挿入できるようにする必要があります。このソリューションでは、最小特権の原則を使用する必要があります。

User1 にはどのロールを割り当てる必要がありますか？

A. Cosmos DB 組み込みデータ コントリビューターのみ

B. Cosmos DB オペレーターのみ

C. DocumentDB アカウント 投稿のみ

D. DocumentDB アカウント寄稿者および Cosmos DB 組み込みデータ寄稿者

正解: ([正解を表示します](#))

The Cosmos DB Built-in Data Contributor role provides the necessary permissions to insert items into a container in an Azure Cosmos DB for NoSQL account. This role grants the minimum required privileges for the described task, adhering to the principle of least privilege.

質問: **23**

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントを持っている。

すべてのログ情報を Log Analytics ワークスペースに送信するように診断設定を構成します。

アカウント内のリソースのプロビジョニングされた 1 秒あたりの要求ユニット (RU/秒) がいつ変更されたかを特定する必要があります。

次のクエリを作成します。

AzureDiagnostics

|ここで、カテゴリ == "ControlPlaneRequests"

クエリには何を含めるべきですか？

A. |ここで、OperationName は AccountUpdateStart」で始まります

B. |ここで、OperationName は SqlContainersDelete」で始まります

C. |ここで、OperationName は MongoCollectionsThroughputUpdate」で始まります。

D. |ここで、OperationName は SqlContainersThroughputUpdate」で始まります

正解: ([正解を表示します](#))

The following are the operation names in diagnostic logs for different operations:

RegionAddStart, RegionAddComplete

RegionRemoveStart, RegionRemoveComplete

AccountDeleteStart, AccountDeleteComplete

RegionFailoverStart, RegionFailoverComplete
AccountCreateStart, AccountCreateComplete
AccountUpdateStart, AccountUpdateComplete
VirtualNetworkDeleteStart, VirtualNetworkDeleteComplete
DiagnosticLogUpdateStart, DiagnosticLogUpdateComplete
Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/audit-control-plane-logs>

質問: 24

次の表に示すように、Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントには 3 つのコンテナがあります。

Name	Database	Time to Live
cn1	db1	On (no default)
cn2	db1	Off
cn3	db1	On (no default)

次の Azure 関数があります。

cn1 の変更フィードを読み取る Fn1 という名前の関数

cn2 の変更フィードを読み取る Fn2 という名前の関数

cn3 の変更フィードを読み取る Fn3 という名前の関数

次のアクションを実行します。

item1 という名前の項目を cn1 から削除します。

cn2 内の item2 という名前の項目を更新します。

cn3 の item3 という名前のアイテムの場合、アイテムの存続時間を 3,600 秒に更新します。

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ] を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
Fn1 will receive item1 from the change feed	☐	☐
Fn2 can check the _etag of item2 to see whether the item is an update or an insert	☐	☐
Fn3 will receive item3 from the change feed	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
Fn1 will receive item1 from the change feed	☐	☒
Fn2 can check the _etag of item2 to see whether the item is an update or an insert	☐	☒
Fn3 will receive item3 from the change feed	☒	☐

Explanation:

Statements	Yes	No
Fn1 will receive item1 from the change feed	☐	☒
Fn2 can check the _etag of item2 to see whether the item is an update or an insert	☐	☒
Fn3 will receive item3 from the change feed	☒	☐

Box 1: No

Azure Cosmos DB 's change feed is a great choice as a central data store in event sourcing architectures where all data ingestion is modeled as writes (no updates or deletes).

Note: The change feed does not capture deletes. If you delete an item from your container, it is also removed from the change feed. The most common method of handling this is adding a soft marker on the items that are being deleted. You can add a property called "deleted" and set it to "true" at the time of deletion. This document update will show up in the change feed. You can set a TTL on this item so that it can be automatically deleted later.

Box 2: No

The _etag format is internal and you should not take dependency on it, because it can change anytime.

Box 3: Yes

Change feed support in Azure Cosmos DB works by listening to an Azure Cosmos container for any changes.

Reference:

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/sql/change-feed-design-patterns>

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/change-feed>

質問: 25

Azure Cosmos DB に db1 という名前のデータベースがあります。f を通じて公開されているサードパーティ アプリケーションがあります。アプリケーションからアプリケーションにデータを移行する必要があります。何を使用すればよいですか？

A. データベース移行アシスタント

B. Azure データ ファクトリ

C. Azure 移行

正解: ([正解を表示します](#))

you can migrate data from various data sources to Azure Cosmos DB using different tools and methods. The choice of the migration tool depends on factors such as the data source, the Azure Cosmos DB API, the size of data, and the expected migration duration¹. Some of the common migration tools are:

* Azure Cosmos DB Data Migration tool: This is an open source tool that can import data to Azure Cosmos DB from sources such as JSON files, MongoDB, SQL Server, CSV files, and Azure Cosmos DB collections. This tool supports the SQL API and the Table API of Azure Cosmos DB².

* Azure Data Factory: This is a cloud-based data integration service that can copy data from various sources to Azure Cosmos DB using connectors. This tool supports the SQL API, MongoDB API, Cassandra API, Gremlin API, and Table API of Azure Cosmos DB³.

* Azure Cosmos DB live data migrator: This is a command-line tool that can migrate data from one Azure Cosmos DB container to another container within the same or different account. This tool supports live migration with minimal downtime and works with any Azure Cosmos DB API⁴.

For your scenario, if you want to migrate data from a third-party application that is exposed through an OData endpoint to a container in Azure Cosmos DB for NoSQL, you should use Azure Data Factory. Azure Data Factory has an OData connector that can read data from an OData source and write it to an Azure Cosmos DB sink using the SQL API⁵. You can create a copy activity in Azure Data Factory that specifies the OData source and the Azure Cosmos DB sink, and run it on demand or on a schedule.

質問: 26

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントにコンテナがあります。

カスタム Log Analytics クエリに基づいてアラートを作成する必要があります。

どの信号タイプを使用する必要がありますか？

A. アクティビティ ログ

B. ログ

C. リソースの健全性

D. メトリクス

正解: B ([コメントを发表する](#))

質問: 27

お客様は、DB1という名前のAzure Cosmos DB for NoSQLデータベースを含むAzureサブスクリプションを所有しています。

あなたは、DB1を使用するApp1という名前のSaaS(Software as a Service)アプリケーションを開発します。App1は、複数のベンダーが顧客管理に利用します。

DB1に、各ベンダーの顧客情報と注文情報を格納するコンテナを作成する必要があります。このソリューションは、以下の要件を満たす必要があります。

* 各ベンダーは固有のテナントIDを持つ必要があります。

* コンテナのパフォーマンスは読み取りに最適化されている必要があります。

* 顧客IDはコンテナ内で重複しても構いませんが、各ベンダーごとに一意である必要があります。

* コンテナは、複数の顧客からの同時クエリに対応できるよう最適化されている必要があります。各クエリは、単一のベンダーのデータを返します。

コンテナはどのように設定すればよいですか？

A. 顧客IDにパーティションキーを追加し、テナントIDに一意のキーポリシーを追加します。

B. (顧客識別子、テナント識別子) に階層パーティションキーを追加します。

C. テナントIDにパーティションキーを追加し、顧客IDに一意のキーポリシーを追加します。

D. (テナント識別子、顧客識別子)に階層型パーティションキーを追加します。

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 28

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントにデータベースがあります。データベースには、container1 という名前のコンテナが含まれています。インデックス作成モードcontainer1はnoneに設定されます。Container1 からデータを抽出し、そのデータを検索可能にするように Azure Cognitive Search を構成します。Cognitive Search インデックスに Azure Cosmos DB インデックスのデータがすべて欠落していることがわかります。問題を解決するにはどうすればよいですか？

- A. Cognitive Search のインデックス属性を検索可能に変更します。
- B. コンテナ 1 のインデックス作成モードを一貫性のあるモードに変更します。
- C. /* パスを除外するようにコンテナ 1 のインデックス作成ポリシーを変更します。
- D. コグニティブ検索のインデックス属性を取得可能に変更します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 29

既定の整合性レベルが強である account1 という名前のマルチリージョン Azure Cosmos DB アカウントがあります。

セッションの整合性レベルを要求するように構成された App1 という名前のアプリがあります。

App1 の読み取りおよび書き込み操作はどのように処理されますか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

Write operations will:

- Be applied only to the replica to which App1 is connected
- Write and replicate data to every region asynchronously
- Write and replicate data to every region synchronously

Read operations will be performed by the replica:

- To which App1 is connected
- That has the lowest estimated latency to the client
- That responds first

正解:

Answer Area

Write operations will:

- Be applied only to the replica to which App1 is connected
- Write and replicate data to every region asynchronously
- Write and replicate data to every region synchronously

Read operations will be performed by the replica:

- To which App1 is connected
- That has the lowest estimated latency to the client
- That responds first

Explanation:

Box 1 = Write and replicate data to every region synchronously

This is because the write concern is mapped to the default consistency level configured on your Azure Cosmos DB account 2 , which is strong in this case. Strong consistency ensures that every write operation is synchronously committed to every region associated with your Azure Cosmos DB account 1 . The request level consistency level of session only applies to the read operations of App1 1 .

Box 2: That has the lowest estimated latency to the client

This is because the read operations of App1 will use the session consistency level that is specified in the request options. Session consistency is a client-centric consistency model that guarantees monotonic reads, monotonic writes, and read-your-own-writes within a session. A session is scoped to a client connection or a stored procedure execution. Session consistency allows clients to read from any region that has the lowest latency to the client.

質問: 30

accounts1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあります。

account1 に統合キャッシュを実装する予定です。

アカウント 1 を対象とするリクエストの接続モードと一貫性レベルを構成する必要があります。ソリューションでは、統合キャッシュを使用しながら一貫性を最大化する必要があります。

何を設定する必要がありますか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area



正解:



Explanation:



質問: 31

注: この質問は、同じシナリオを示す一連の質問の一部です。このシリーズの各質問には、指定された目標を達成できる可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策が含まれる場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答すると、その質問に戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面には表示されません。

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントに、container1 という名前のコンテナがあります。

Container1 の内容を Azure Stream Analytics ジョブの参照データとして利用できるようにする必要があります。

解決策: Azure Cosmos DB Core (SQL) API 変更フィードをトリガーとして使用し、Azure イベント ハブを出力として使用する Azure 関数を作成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

The Azure Cosmos DB change feed is a mechanism to get a continuous and incremental feed of records from an Azure Cosmos container as those records are being created or modified. Change feed support works by listening to container for any changes. It then outputs the sorted list of documents that were changed in the order in which they were modified.

The following diagram represents the data flow and components involved in the solution:



Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/sql/changefeed-ecommerce-solution>

有効的な**DP-420J**問題集はJPNTTest.com提供され、**DP-420J**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**DP-420J**試験問題集を提供します。JPNTTest.com DP-420J試験問題集はもう更新されました。ここで**DP-420J**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/DP-420J-mondaishu> **281**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

カスタム競合解決ポリシーを使用する Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがある。アカウントには、実行時例外をスローするマージ プロシージャが登録されています。実行時例外により、競合の解決が妨げられます。

競合を解決するには、Azure 関数を使用する必要があります。何をえばいいのでしょうか？

A. 競合フィードから項目を取得し、タイマー トリガーによってトリガーされる関数

- B. 変更フィードからプッシュされた項目を受け取り、Azure Cosmos DB トリガーによってトリガーされる関数
- C. 競合フィードからプッシュされたアイテムを受け取り、Azure Cosmos DB トリガーによってトリガーされる関数
- D. 変更フィードから項目を取得し、タイマー トリガーによってトリガーされる関数

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 33

Azure サブスクリプションがあります。サブスクリプションには、Customers というコンテナをホストする account1 という Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントが含まれています。マルチリージョン書き込みが許可されています。

次の C# コードを実行します。

```
var sales = await createClient.GetDatabase("sales");
var customers = await sales.CreateContainerIfNotExistsAsync
(
    new ContainerProperties("customers", "/id")
    {
        ConflictResolutionPolicy = new ConflictResolutionPolicy()
        {
            Mode = ConflictResolutionMode.Custom,
            ResolutionProcedure = "db/sales/cr/cfs/customers/sprocs/conflict"
        }
    }
);

await customers.Scripts.CreateStoredProcedureAsync
(
    new StoredProcedureProperties("conflict", File.ReadAllText(@"conflict.js"))
);
```

次の各文について、その文が正しい場合は「はい」を選択し、そうでない場合は「いいえ」を選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Statements	Yes	No
conflict is the ID of the stored procedure used for conflict resolution.	☐	☐
When a write conflict occurs, the id property of items in customers will hold the session token of the last writer.	☐	☐
Changing the conflict resolution policy for customers to LastWriterWins requires dropping the container.	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
conflict is the ID of the stored procedure used for conflict resolution.	☒	☐
When a write conflict occurs, the id property of items in customers will hold the session token of the last writer.	☒	☐
Changing the conflict resolution policy for customers to LastWriterWins requires dropping the container.	☐	☒

Explanation:

Answer Area

Statements	Yes	No
conflict is the ID of the stored procedure used for conflict resolution.	☒	☐
When a write conflict occurs, the id property of items in customers will hold the session token of the last writer.	☒	☐
Changing the conflict resolution policy for customers to lastWriterWins requires dropping the container.	☐	☒

質問: 34

DB1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL データベースを含む Azure サブスクリプションがあります。DB1 にプロビジョニングされた共有スループットは 10,000 DTU/秒です。DB1 には、次の表に示すコンテナが含まれています。

Name	Provisioned throughput
Container1	Share throughput across containers
Container2	4,000 DTU/s

コンテナのスループットを変更する必要があります。ソリューションは次の要件を満たす必要があります。

- * Container1 の最大スループットは 4,000 DTU/秒である必要があります。
- * Contained のスループットはコンテナ間で共有する必要があります。
- * 管理上の労力は最小限に抑える必要があります。

あなたは何をすべきか？回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

For Container1:
 Modify the settings of Container1.
 Migrate the data in Container1 to a new container.
 Modify the settings of Container1.
 Modify the settings of Container2.
 Modify the settings of DB1.

For Container2:
 Modify the settings of DB1.
 Migrate the data in Container2 to a new container.
 Modify the settings of Container1.
 Modify the settings of Container2.
 Modify the settings of DB1.

正解:

Answer Area

For Container1:
 Modify the settings of Container1.
 Migrate the data in Container1 to a new container.
 Modify the settings of Container1.
 Modify the settings of Container2.
 Modify the settings of DB1.

For Container2:
 Modify the settings of DB1.
 Migrate the data in Container2 to a new container.
 Modify the settings of Container1.
 Modify the settings of Container2.
 Modify the settings of DB1.

Explanation:



質問: 35

Azure Cosmos DB for NoSQL コンテナをお持ちです。
コンテナへのすべてのクエリは、境界状態整合性レベルを使用します。
コンテナに対して多数のクエリを実行すると、HTTP 429 エラーが返されることがわかった。
HTTP 429エラーの数を減らすための2つの方法は何ですか？それぞれの正解には、完全な解決策が示されています。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

- A. コンテナにポストトリガーを追加します。
- B. クエリ要求オプションを使用して、整合性レベルを「強力」に変更します。
- C. コンテナにプリトリガーを追加します。
- D. クライアントアプリケーションにクエリ再試行ロジックを追加します。
- E. 最大スループットを増加させる。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 36

デフォルトの整合性レベルを使用する Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントをお持ちの場合、クエリ要求の一部として整合性レベルを変更するにはどうすればよいですか？

- A. 書き込み操作の一貫性が低い
- B. 書き込み操作の一貫性が強化される
- C. 読み取り操作の一貫性が向上
- D. 読み取り操作の一貫性が弱い

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 37

家族に関するデータを保存するコンテナがあります。以下はサンプルドキュメントです。

```

{
  "lastName": "Cartwright",
  "parents": [
    {
      "firstName": "Elvira",
      "role": "mother",
      "age": 64
    },
    {
      "firstName": "Randolph",
      "role": "father",
      "age": 67
    }
  ],
  "children": [
    {
      "grade": 5,
      "name": "Pat",
      "age": 13,
      "gender": "male"
    }
  ]
}

```

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ] を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area	Statements	Yes	No
	Children who do not have parents defined will appear on the list.	☐	☐
	Children who have more than one pet will appear on the list multiple times.	☐	☐
	Children who do not have pets defined will appear on the list.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements

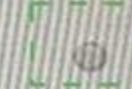
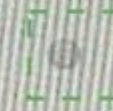
Children who do not have parents defined will appear on the list.

Children who have more than one pet will appear on the list multiple times.

Children who do not have pets defined will appear on the list.

Yes

No



Explanation:

Children who do not have parents defined will appear on the list = NO

Children who do not have parents defined will not appear on the list. This is because the document schema defines the children property as an array of objects that contain the firstName and gender properties of each child, as well as a parents property that references the id values of the parents. If a child does not have parents defined, it means that the parents property is either missing or empty for that child. Therefore, such a child will not be included in the list of children who have parents defined.

Children who have more than one pet will appear on the list multiple times. = Yes Children who have more than one pet will appear on the list multiple times. This is because the document schema defines the pets property as an array of objects that contain the givenName and type properties of each pet, as well as a children property that references the id values of the children who own the pet. If a child has more than one pet, it means that the child's id value will appear in the children property of multiple pet objects. Therefore, such a child will be included in the list of children who have pets multiple times.

Children who do not have pets defined will appear on the list = No

Children who do not have pets defined will not appear on the list. This is because the document schema defines the pets property as an array of objects that contain the givenName and type properties of each pet, as well as a children property that references the id values of the children who own the pet. If a child does not have pets defined, it means that the child's id value does not appear in the children property of any pet object.

Therefore, such a child will not be included in the list of children who have pets defined.

質問: 38

以下は注文時の書類のサンプルです。

```
{
  "orderId" : "d4a91979b-5ead-43a3-b851-add9a71ac4b6",
  "customerId" : "f6e39103-bdc7-4346-9cfb-45daa4b2becf",
  "orderDate" : "2021-09-29",
  "orderItems" : [
    {
      "itemId" : "6c30412f-3cd7-4cab-813c-05942345720d",
      "name" : "blue pen",
      "type" : "pens",
      "count" : 10,
    },
    ...
  ],
  "total" : 12345,
  "status" : "ordered"
}
```

注文コンテナは、顧客をパーティション キーとして使用します。

アイテムタイプごとに月ごとに注文された合計アイテムのレポートを提供する必要があります。ソリューションは次の要件を満たす必要があります。

レポートができるだけ早く実行できるようにしてください。

要求ユニット (RU) の消費を最小限に抑えます。

あなたは何をすべきか？

A. SQL クエリを使用して注文をクエリするようにレポートを構成します。

B. 新しい集計コンテナをクエリするようにレポートを構成します。変更フィードを使用して集計を設定します。

C. 専用ゲートウェイを介して SQL クエリを使用して注文をクエリするようにレポートを構成します。

D. 新しい集計コンテナをクエリするようにレポートを構成します。毎日実行される SQL クエリを使用して集計を作成します。

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

You can facilitate aggregate data by using Change Feed and Azure Functions, and then use it for reporting.

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/change-feed>

質問: 39

`account` という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあり、4 時間間隔のバックアップと 8 時間保持期間の定期バックアップ ポリシーが設定されています。`account` アカウントには、`db1` という名前の単一のデータベースと、ストアド プロシージャを含むコンテナが含まれています。

管理者が誤ってdb1を削除してしまった。

db1の内容(すべての項目を含む)が可能な限り速やかに利用可能になるようにする必要があります。

手順はどのように実行すればよいでしょうか？回答するには、不足している操作を正しい順序にドラッグしてください。各操作は、1回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Actions

- Decrease the backup interval.
- Migrate the data.
- Recreate the stored procedures.
- Submit a request ticket.

正解:

Actions

- Decrease the backup interval.
- Migrate the data.
- Recreate the stored procedures.
- Submit a request ticket.

Answer Area

Step 1: Increase the retention period of the account.

Step 2:

Step 3:

Answer Area

Step 1: Increase the retention period of the account.

Step 2: Submit a request ticket.

Step 3: Migrate the data.

Explanation:

Actions

- Decrease the backup interval.
- Migrate the data.
- Recreate the stored procedures.
- Submit a request ticket.

Answer Area

Step 1: Increase the retention period of the account.

Step 2: Submit a request ticket.

Step 3: Migrate the data.

質問: 40

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントを含む Azure サブスクリプションをお持ちです。複数のアイテムを返す SQL クエリを作成する必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。

* 返される各項目について、現在の協定世界時(UTC)の日時をISO 8601形式の文字列として含めてください。

開発労力を最小限に抑える。

何を使うべきでしょうか？

- A. DateTimePart()
- B. GetCurrentDateTime()
- C. ユーザー定義関数
- D. GetCurrentTimestamp()

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 41

accountsという名前のAzure Cosmos DBアカウントをお持ちです。

サイト間VPNを使用して、オンプレミス環境からアカウント1にアクセスする必要があります。何を使用すればよいですか？

- A. Azure Synapse Link
- B. プライベートエンドポイント
- C. 専用ゲートウェイ

正解: B ([コメントを發表する](#))

質問: 42

Azure サブスクリプションをお持ちです。

最大 10 冊の本を出版した著者の著者データと書籍データを格納する、DB1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL データベースを作成する予定です。データの一般的なクエリと頻繁なクエリには、次のものがあります。

* 個々の著者によって書かれたすべての書籍

* 各書籍の概要

DB1 のデータ モデルを推奨する必要があります。ソリューションは次の要件を満たす必要があります。

* 著者および書籍データのトランザクション更新をサポートします。

* 読み取り操作コストを最小限に抑えます。

何をお勧めしますか？

- A. 2 つのコンテナを作成します。1 つは著者項目を格納し、もう 1 つは書籍項目を格納します。各著者の書籍のリストを対応する著者項目に埋め込みます。
- B. 著者項目と書籍項目、そして著者とその書籍の関係を表す項目を格納する単一のコンテナを作成します。
- C. 著者アイテムと書籍アイテムを格納する単一のコンテナを作成します。各著者の書籍のリストを
- D. 3 つのコンテナを作成します。1 つは著者の項目を格納し、2 つ目は書籍の項目を格納し、3 つ目は著者とその書籍の関係を表す項目を格納します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 43

Azure Cosmos DB for NoSQL データベースに運用データがあります。

データベース ユーザーは、ビジネス分析チームがデータベースに対して大規模な Apache Spark ベースのクエリを実行すると、データベースのパフォーマンスが大幅に低下すると報告しています。

Spark ベースのクエリの実行がデータベース ユーザーに与える影響を軽減する必要があります。

何を実装する必要がありますか？

- A. Azure Synapse リンク
- B. Spark コネクタ
- C. デフォルトの整合性レベル Strong
- D. デフォルトの一貫性レベルの一貫したプレフィックス

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 44

あなたは、customers という名前のコンテナを含む Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントを持っています。

顧客情報をキャッシュするApp1という名前のアプリケーションがあり、顧客リストが変更されたときに通知を受け取る必要があります。

変更フィードを実装します。有効期限設定にはデフォルト値が設定されています。

あなたは以下のことを発見します。

* INSERTおよびUPDATE操作に関する通知は10秒以内に受信されます。

* DELETE操作に関する通知は受信されません。

App1がDELETE操作の通知を確実に受信できるようにするには、どの2つの操作を実行する必要がありますか？

正解はそれぞれ、解答の一部を示しています。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

A. ポストトリガーを追加します。

B. TTLを増やす

C. 事前トリガーを追加します。

D. アイテムに IsDeleted フラグを追加します。

E. DELETE の代わりに UPDATE を使用してください。

正解: D,E ([コメントを发表する](#))

質問: 45

account1という名前のAzure Cosmos DB for NoSQLアカウントをお持ちです。

あなたはApp1という名前のアプリを持っており、そのアプリはaccount1に接続し、すべてのリクエストに対して強力な一貫性を使用します。

アカウント1に対してAzure Cosmos DB統合キャッシュを実装します。

App1が統合キャッシュを使用するようにする必要があります。

あなたはどうすべきですか？

A. 接続モードをTCP経由の直接モードに設定します。

B. MaxIntegratedCacheStalenessを0に設定します。

C. リクエストの一貫性レベルをセッションに変更します。

D. リクエストの一貫性レベルを 制限付き陳腐化」に変更します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 46

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントをお持ちです。

アカウントに保存されているすべてのデータに対して Always Encrypted を実装する必要があります。ソリューションでは、管理の労力を最小限に抑える必要があります。

どのレベルで暗号化ポリシーを定義し、データ暗号化キーを設定する必要がありますか？ 答えるには、適切なレベルを正しい要件にドラッグします。各レベルは、1 回、複数回、またはまったく使用しない場合があります。コンテンツを表示するには、ペイン間の分割バーをドラッグするか、スクロールする必要がある場合があります。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



正解:

Levels

Account

Container

Database

Item

Answer Area

Microsoft

Define the encryption policy: Container

Set the data encryption key: Account

Explanation:

Levels

Account

Container

Database

Item

Answer Area

Microsoft

Define the encryption policy: Container

Set the data encryption key: Account

有効的な**DP-420J**問題集はJPNTTest.com提供され、**DP-420J**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**DP-420J**試験問題集を提供します。JPNTTest.com DP-420J試験問題集はもう更新されました。ここで**DP-420J**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/DP-420J-mondaishu> **281**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 47

Azure Cosmos DB for NoSQL コンテナがあります。コンテナには、次のプロパティを持つアイテムが含まれています。

Property	Data type	Filtered in queries
dateOfBirth	Date	Yes
hasProvidedTaxNumber	Boolean	Yes
healthStatus	String	No

Always Encrypted を使用して、コンテナに保存されているデータを保護する必要があります。プロパティごとに、最も強力なタイプの暗号化を使用し、クエリが適切に実行されるようにする必要があります。

各プロパティに適用できる最も強力な暗号化の種類は何ですか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

dateOfBirth:

healthStatus:

Deterministic
Randomized
No encryption

Deterministic
Randomized
No encryption

正解:

Answer Area

dateOfBirth:

healthStatus:

Deterministic
Randomized
No encryption

Deterministic
Randomized
No encryption

Explanation:

Box 1 = Randomized

Box 2 = Deterministic

Always Encrypted for Azure Cosmos DB supports two types of encryption: deterministic and randomized 1 .

Deterministic encryption always produces the same encrypted value for any given plain text value.

Randomized encryption produces a different encrypted value for the same plain text value.

For dateOfBirth, randomized encryption is the strongest type of encryption because it provides better protection against statistical analysis and brute-force attacks. Deterministic encryption would not be suitable for dateOfBirth because it could reveal patterns or allow equality comparisons 1 .

For healthStatus, deterministic encryption is the strongest type of encryption because it allows queries to perform equality comparisons and filters on the encrypted property. Randomized encryption would not be suitable for healthStatus because it would prevent any queries on the encrypted property 1 .

質問: 48

Container1 という名前の Azure Cosmos DB コンテナがあります。

アイテムを contains に挿入する必要があります。ソリューションでは、アイテムが 2 時間後に自動的に削除されるようにする必要があります。

項目定義はどのように完了すればよいですか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

```
{
  "id": "1",
  "customerOrderNumber": "XA2342093",
  "orderDate": "2022-04-22T09:34:42",
  "customerNumber": 234223,
  "orderItems":
  [
    {
      "id": 1,
      "quantity": 12,
      "productCode": "B234BLK"
    }
  ]
  "_attachments": "attachments/",
  "ttl": 7200,
  "_ts": 1551322496
}
```



ttl	▼
defaultTimeToLive	
ttl	
_ttl	

7200	▼
-1	
2	
120	
7200	

正解:

ANSWER AREA

```
{
  "id": "1",
  "customerOrderNumber": "XA2342093",
  "orderDate": "2022-04-22T09:34:42",
  "customerNumber": 234223,
  "orderItems":
  [
    {
      "id": 1,
      "quantity": 12,
      "productCode": "B2348LK"
    }
  ]
}
"attachments": "attachments/",
"ttl": 7200,
"defaultTimeToLive": 7200,
"ttl": 7200,
"ts": 1551322496
}
```

Microsoft

Explanation:



質問: 49

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントのデータを読み取る App1 という名前のアプリケーションがあります。App1 は同じ読み取りクエリを毎分実行します。アカウントのデフォルトの整合性レベルは最終に設定されています。すべてのクエリがキャッシュを使用するのではなく、要求ユニット (RU) を消費していることがわかります。IntegratedCacheItemHitRate メトリックと IntegratedCacheQueryHitRate メトリックを確認します。どちらのメトリックの値も 0 です。専用ゲートウェイ クラスターがプロビジョニングされ、接続文字列で使用されていることを確認します。App1 が Azure Cosmos DB 統合キャッシュを使用していることを確認する必要があります。何を設定すればよいでしょうか？

- A. Azure Cosmos DB コンテナのインデックス作成ポリシー
- B. App1 からのリクエストの整合性レベル
- C. App1 CosmosClient の接続モード

D. Azure Cosmos DB アカウントのデフォルトの整合性レベル

正解: **C** ([コメントを発表する](#))

Because the integrated cache is specific to your Azure Cosmos DB account and requires significant CPU and memory, it requires a dedicated gateway node. Connect to Azure Cosmos DB using gateway mode.

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/integrated-cache-faq>

質問: 50

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントにデータベースがあります。データベースは 2 時間ごとにバックアップされます。

ポイントインタイム復元をサポートするソリューションを実装する必要があります。

まず何をすべきでしょうか？

- A.** アカウントの継続的バックアップを有効にします。
- B.** アカウントのバックアップと復元の設定を構成します。
- C.** 定期的なバックアップ ポリシーを持つ新しいアカウントを作成します。
- D.** アカウントのポイント イン タイム リストア設定を構成します。

正解: **A** ([コメントを発表する](#))

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/provision-account-continuous-backup>

質問: 51

注: この質問は、同じシナリオを示す一連の質問の一部です。このシリーズの各質問には、指定された目標を達成できる可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策がある場合もありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答すると、その質問に戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面には表示されません。

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに conlainer1 という名前のコンテナがあります。

Container1 の内容を Azure Stream Analytics ジョブの参照データとして利用できるようにする必要があります。

解決策: データを別の Azure Cosmos DB for NoSQL コンテナにコピーする Azure 関数を作成します。

これは目標を達成していますか？

- A.** いいえ
- B.** はい

正解: **A** ([コメントを発表する](#))

質問: 52

複数の Azure サブスクリプションを使用する開発環境をお持ちです。

各サブスクリプションに単一のデータベースを含む、単一の Azure Cosmos DB アカウントをデプロイする予定です。

Azure Resource Manager (ARM) テンプレートを使用してデプロイを自動化する必要があります。ソリューションは以下の要件を満たす必要があります。

* Azure Cosmos DB 関連の料金を最小限に抑える。

コストを増加させることなく、1 秒あたりの利用可能なリクエストユニット数(RU/s)を最大化する。

テンプレートはどのように記入すればよいですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。注：

正解ごとに1ポイント獲得できます。

```

...
"resources": [
  {
    "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts",
    "apiVersion": "2022-05-15",
    "name": "[toLower(parameters('accountName'))]",
    "location": "[parameters('location')]",
    "properties": {
      "connectorOffer": "small",
      "enableFreeTier": true,
      "kind": "GlobalDocumentDB"
    },
    "locations": [
      {
        "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases",
        "apiVersion": "2022-05-15",
        "name": "[format('{0}/{1}', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName'))]",
        "properties": {
          "resource": {
            "id": "[parameters('databaseName')]"
          },
          "options": {
            "throughput": 400,
            "throughput": 1000,
            "throughput": 2000
          }
        },
        "[resourceId('Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts', toLower(parameters('accountName')))]"
      }
    ]
  }
]

```



Microsoft

正解:



...

```

"resources": [
  {
    "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts",
    "apiVersion": "2022-05-15",
    "name": "[toLower(parameters('accountName'))]",
    "location": "[parameters('location')]",
    "properties": {
      "connectorOffer": "small",
      "enableFreeTier": true,
      "kind": "GlobalDocumentDB"
    },
    "locations": [
      {
        "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases",
        "apiVersion": "2022-05-15",
        "name": "[format('{0}/{1}', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName'))]",
        "properties": {
          "resource": {
            "id": "[parameters('databaseName')]"
          },
          "options": {
            "throughput": 400,
            "throughput": 1000,
            "throughput": 2000
          }
        }
      }
    ]
  }
]

```

Explanation:

Answer Area

```
...
  "resources": [
    {
      "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts",
      "apiVersion": "2022-05-15",
      "name": "[toLower(parameters('accountName'))]",
      "location": "[parameters('location')]",
      "properties": {
        "enableFreeTier": true,
        "databaseAccountOfferType": "Standard",
        "consistencyPolicy": {
          "defaultConsistencyLevel": "Session"
        },
        "locations": [
          {
            "locationName": "[parameters('location')]"
          }
        ]
      }
    }
  ],
  ...
  {
    "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases",
    "apiVersion": "2022-05-15",
    "name": "[format('{0}/{1}', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName'))]",
    "properties": {
      "resource": {
        "id": "[parameters('databaseName')]"
      },
      "options": {
        "throughput": 1000
      }
    }
  },
  ...
  "dependsOn": [
    "[resourceId('Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts', toLower(parameters('accountName')))]"
  ],
  ...
}
```

質問: 53

計画された変更をサポートし、ビジネス要件を満たすために、account2 の容量モードとスケール構成を選択する必要があります。何を選択すればよいでしょうか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

Capacity mode:

Provisioned throughput

Provisioned throughput

Serverless

Scale configuration:

Autoscale throughput on iotdb and throughput sharing across the containers

Autoscale throughput on con-iot1 and con-iot2

Autoscale throughput on iotdb and throughput sharing across the containers

Manual throughput on con-iot1 and con-iot2

正解:

Answer Area

Capacity mode:

Provisioned throughput

Provisioned throughput

Serverless

Scale configuration:

Autoscale throughput on iotdb and throughput sharing across the containers

Autoscale throughput on con-iot1 and con-iot2

Autoscale throughput on iotdb and throughput sharing across the containers

Manual throughput on con-iot1 and con-iot2

Explanation:

Answer Area

Capacity mode:

Provisioned throughput

Scale configuration:

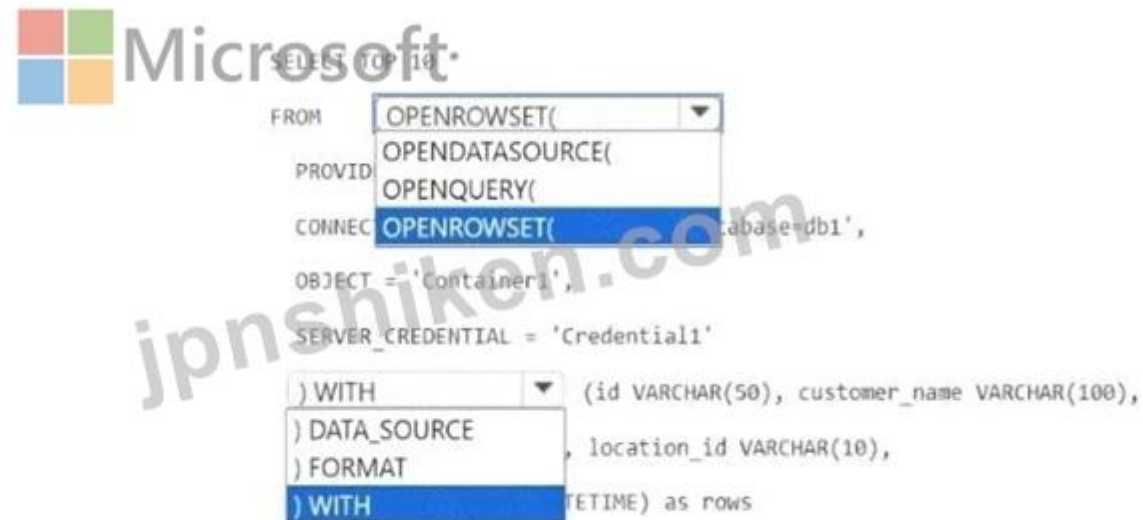
Autoscale throughput on iotdb and throughput sharing across the containers

質問: 54

次の表に示すリソースを含む Azure サブスクリプションがあります。

Name	Type	Description
account1	Azure Cosmos DB for NoSQL	Account that includes a database named db1, which hosts a container named Container1
workspace1	Azure Synapse Analytics	Workspace that is connected to db1 by using Azure Synapse Link for Azure Cosmos DB

Workspace1 のサーバーレス SQL プールから Container1 をクエリする必要があります。
クエリをどのように完了すればよいですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。
注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。



正解:



Explanation:

```

SELECT TOP 10 *
FROM OPENROWSET(
    PROVIDER = 'CosmosDB',
    CONNECTION = 'Account=account1;Database=db1',
    OBJECT = 'Container1',
    SERVER_CREDENTIAL = 'Credential1'
) WITH (id VARCHAR(50), customer_name VARCHAR(100),
    purchase_count BIGINT, location_id VARCHAR(10),
    last_purchase_date DATETIME) as rows

```

質問: 55

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントを含む Azure サブスクリプションをお持ちの場合、次のクエリを実行します。

```

QueryDefinition query = new QueryDefinition("SELECT DISTINCT VALUE e.lastname FROM employees e ORDER BY
e.lastname");
string continuation = null;

List<Cars> results = new List<Cars>();
using (FeedIterator<Cars> resultSetIterator = container.GetItemQueryIterator<Cars>(
    query, requestOptions: new QueryRequestOptions()
    {
        MaxItemCount = -1
    }
))
{
    while (resultSetIterator.HasMoreResults)
    {
        FeedResponse<Cars> response = await resultSetIterator.ReadNextAsync();
        results.AddRange(response);
        if (response.Count > 0)
        {
            continuation = response.ContinuationToken;
            break;
        }
    }
}

```

以下の各設問について、該当する場合は「はい」を選択してください。該当しない場合は「いいえ」を選択してください。注：正解ごとに1点が加算されます。

Answer Area



Statements

	Yes	No
As written, the query will return results.	☐	☐
The MaxItemCount parameter limits the number of results per query execution.	☐	☐
The ContinuationToken parameter is used to process queries from multiple pages.	☐	☐

正解:

Answer Area		
Statements		
As written, the query will return results.	☐	☒
The MaxItemCount parameter limits the number of results per query execution.	☒	☐
The ContinuationToken parameter is used to process queries from multiple pages.	☒	☐

Explanation:

Answer Area

Statements

	Yes	No
As written, the query will return results.	☐	☒
The MaxItemCount parameter limits the number of results per query execution.	☒	☐
The ContinuationToken parameter is used to process queries from multiple pages.	☒	☐

質問: 56

Azure Cosmos DB (SQL API) シンクを使用してデータセットを書き込む Azure Data Factory データ フローを実装しています。データ フローは 2,000 の Apache Spark パーティションを使用します。スループットを最適化するには、各 Spark パーティションからの取り込みのバランスが取れていることを確認する必要があります。

どのシンク設定を構成する必要がありますか？

- A. スループット
- B. 書き込みスループットの予算
- C. バッチサイズ

D. 収集アクション

正解: (正解を表示します)

Batch size: An integer that represents how many objects are being written to Cosmos DB collection in each batch. Usually, starting with the default batch size is sufficient. To further tune this value, note:

Cosmos DB limits single request's size to 2MB. The formula is "Request Size = Single Document Size * Batch Size". If you hit error saying "Request size is too large", reduce the batch size value.

The larger the batch size, the better throughput the service can achieve, while make sure you allocate enough RUs to empower your workload.

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/data-factory/connector-azure-cosmos-db>

質問: 57

次の表に示す Azure Cosmos DB for NoSQL コンテナがあります。

Name	DefaultTimeToLive
container1	-1
container2	null
container3	60

次の表に示す項目があります。

Name	Container	TimeToLive
item1	container1	60
item2	container2	10
item3	container3	-1

各アイテムの有効期限はいつですか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area

Item1:

- Never
- 10 seconds
- 60 seconds**
- 10 minutes
- 60 minutes

Item2:

- Never**
- 10 seconds
- 60 seconds
- 10 minutes
- 60 minutes

Item3:

- Never**
- 10 seconds
- 60 seconds
- 10 minutes
- 60 minutes



正解:

Answer Area

Item1: 60 seconds
Never
10 seconds
60 seconds
10 minutes
60 minutes

Item2: Never
Never
10 seconds
60 seconds
10 minutes
60 minutes

Item3: Never
Never
10 seconds
60 seconds
10 minutes
60 minutes

Explanation:

Answer Area

Item1: 60 seconds

Item2: Never

Item3: Never

質問: 58

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに、マルチリージョン書き込み用に構成されたデータベースがあります。

コンテナの競合解決ポリシーを実装するには、Azure Cosmos DB SDK を使用する必要があります。ソリューションでは、競合がすべて競合フィードに送信されるようにする必要があります。

解決策: ConflictResolutionMode を Custom に設定し、ポリシーのデフォルト設定を使用します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

Setting ConflictResolutionMode to Custom and using the default settings for the policy will not ensure that conflicts are sent to the conflict feed. You need to define a custom stored procedure using the "conflictingItems" parameter to handle conflicts properly.

質問: **59**

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに、マルチリージョン書き込み用に構成されたデータベースがあります。

コンテナの競合解決ポリシーを実装するには、Azure Cosmos DB SDK を使用する必要があります。ソリューションでは、競合がすべて競合フィードに送信されるようにする必要があります。

解決策: ConflictResolutionMode を Custom に設定しました。ResolutionProcedures をカスタムストアードプロシージャに設定します。isTomstone パラメーターを使用して競合を解決するようにカスタムストアードプロシージャを構成します。

これは目標を達成していますか？

A. はい

B. いいえ

正解: ([正解を表示します](#))

The solution is incorrect because there is no "isTom" parameter in the Azure Cosmos DB SDK. The correct parameter is "isTombstone".

質問: **60**

注: この質問は、同じシナリオを示す一連の質問の一部です。このシリーズの各質問には、指定された目標を達成できる可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策が含まれる場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答すると、その質問に戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面には表示されません。

コンテナという名前のコンテナがあります。Azure Cosmos DB for NoSQL アカウント内。

Container1 の内容を Azure Stream Analytics ジョブの参照データとして利用できるようにする必要があります。

解決策: Azure Cosmos DB for NoSQL 変更フィードをトリガーとして使用し、Azure イベント ハブを出力として使用する Azure 関数を作成します。

これは目標を達成していますか？

A. いいえ

B. はい

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **61**

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントに、container1 という名前のコンテナがあります。container1 コンテナには 120 GB のデータがあります。

以下は、container1 内のドキュメントのサンプルです。

```
{
  "customerId" : "5425",
  "orderId" : "9d7816e6-f401-42ba-ad05-0e03de35c0b8",
  "orderDate" : "2019-05-03",
  "orderDetails" : []
}
```

orderId プロパティはパーティション キーとして使用されます。

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.orderDate = "2019-05-03"</pre>	☐	☐
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.customerId = "5425"</pre>	☐	☐
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.orderDate = "2019-05-03" and c.orderId = "9d7816e6-f401-42ba-ad05-0e03de35c0b8"</pre>	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.orderDate = "2019-05-03"</pre>	☒	☐
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.customerId = "5425"</pre>	☒	☐
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.orderDate = "2019-05-03" and c.orderId = "9d7816e6-f401-42ba-ad05-0e03de35c0b8"</pre>	☐	☒

Explanation:

Statements	Yes	No
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.orderDate = "2019-05-03"</pre>	☐	☐
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.customerId = "5425"</pre>	☐	☐
If you run the following query, the query will run as a cross-partition query <pre>SELECT * FROM c where c.orderDate = "2019-05-03" and c.orderId = "9d7816e6-f401-42ba-ad05-0e03de35c0b8"</pre>	☐	☒

Box 1: Yes

Records with different OrderIDs will match.

Box 2: Yes

Records with different OrderIDs will match.

Box 3: No

Only records with one specific OrderId will match

有効的な**DP-420J**問題集はJPNTTest.com提供され、**DP-420J**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**DP-420J**試験問題集を提供します。JPNTTest.com DP-420J試験問題集はもう更新されました。ここで**DP-420J**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/DP-420J-mondaishu> 281問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 62

プロビジョニングされたスループット容量モードを使用する storage1 という名前の Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントがあります。

storage1 アカウントには、次の表に示すデータベースが含まれています。

Name	Throughput	Max request units per second (RU/s)	Geo-redundancy	Multi-region writes	Number of regions
db1	Autoscale	5,000	Disabled	Disabled	1
db2	Autoscale	8,000	Enabled	Enabled	3

データベースには、次の表に示すコンテナが含まれています。

Name	Database	Throughput
cn01	db1	Container - autoscale maximum RU/s of 10,000
cn02	db1	Database
cn03	db1	Database
cn04	db1	Database
cn05	db1	Database
cn11	db2	Database
cn12	db2	Database
cn13	db2	Database
cn14	db2	Database
cn15	db2	Database
cn16	db2	Database
cn17	db2	Database
cn18	db2	Database

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、「いいえ」を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
At a minimum, you will be billed for 4,000 RU/s per hour for db1	☐	☐
The maximum throughput that can be consumed by cn11 is 400 RU/s	☐	☐
To db2, you can add a new container that uses database throughput	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
At a minimum, you will be billed for 4,000 RU/s per hour for db1	☐	☒
The maximum throughput that can be consumed by cn11 is 400 RU/s	☐	☒
To db2, you can add a new container that uses database throughput	☒	☐

Explanation:



Statements

At a minimum, you will be billed for 4,000 RU/s per hour for db1

Yes

No

☐☒

The maximum throughput that can be consumed by cn11 is 400 RU/s

☐☒

To db2, you can add a new container that uses database throughput

☒☐

Box 1: No

Four containers with 1000 RU/s each.

Box 2: No

Max 8000 RU/s for db2. 8 containers, so 1000 RU/s for each container.

Box 3: Yes

Max 8000 RU/s for db2. 8 containers, so 1000 RU/s for each container. Can very well add an additional container.

Reference:

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/plan-manage-costs>

<https://azure.microsoft.com/en-us/pricing/details/cosmos-db/>

質問: 63

Azure Cosmos DB for NoSQL データベースがあり、Container^ という名前のコンテナがホストされています。コンテナ 1 を使用する App1 という名前の新しいアプリを開発しています。

App1がContainer1内のドキュメントを削除しようとした際に、その操作がブロックされ、アプリにエラーが返されるようにする必要があります。

何をすべきでしょうか？

- A. ストアドプロシージャ
- B. ポストトリガー
- C. ユーザー定義関数(UDF)
- D. プリトリガー

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 64

account1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあります。複数リージョン書き込みシナリオを実装する予定です。account1 に対して複数リージョン書き込みを有効にします。

次に実行すべき2つの行動はどれですか？それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。注：正解につき1ポイントです。

- A. UseMultipleWriteLocations を True に設定します。
- B. consistencyLevel を Eventual に設定します。
- C. 接続文字列を更新します。
- D. ApplicationRegion をデプロイされたリージョンの名前に設定します。

正解: **A,D** ([コメントを发表する](#))

質問: **65**

Azure Cosmos DB または NoSQL アカウントにデータを保存する運用システムを作成する予定です。

次の要件を満たすようにアカウントを構成する必要があります。

*Spark クエリをサポートします。

*過去6か月間のデータ分析をサポートします。

*クエリを実行するときのみ分析コンピューティングに対して料金を支払います。

実行すべき3つのアクションはどれですか？それぞれの正解は解決策の一部を示しています。注：正解つにつき1ポイント獲得できます。

A. Azure Databanks ノートブックを作成します。

B. Azure Synapse パイプラインを作成します。

C. コンテナを作成し、分析プロパティを 6 か月に設定します。

D. Azure Synapse のリンク サービスを作成します。

E. コンテナを作成し、有効期間を 6 か月に設定します。

F. アカウントのAzure Synapse Linkを有効にする

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **66**

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントにコンテナがあります。コンテナには家族に関するデータが保存されます。

親、子供、ペットに関するデータは別のドキュメントとして保存されます。

各書類には各家族の住所が記載されています。同じファミリーのメンバーは、ファミリー ID という名前の同じパーティション キーを共有します。同じアドレスを共有する同じファミリーの各メンバーのアドレスを更新する必要があります。ソリューションは次の要件を満たす必要があります。

* 原子整合性があり、分離され、耐久性がある (ACID)。

* 遅延を最小限に抑えます。

あなたは何をすべきか？

A. パッチ操作を使用して、各ファミリー メンバーのドキュメントを個別に更新します。

B. トランザクション バッチ操作を使用して、各ファミリー メンバーのドキュメントを更新します。

C. 各ファミリー メンバーのドキュメントを個別に更新し、整合性レベルを強に設定します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: **67**

Azure サブスクリプションには、Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントが含まれています。このアカウントには、DB1 という名前のデータベースと、KV1 という名前の Azure Key Vault が含まれています。

DB1にContainer1という名前のコンテナを作成する必要があります。ソリューションでは、Container1内のアイテムのプロパティがAlways Encryptedを使用して暗号化されるようにする必要があります。

どの4つの行動を順番に実行すべきでしょうか？回答するには、行動リストから適切な行動を回答欄に移動させ、正しい順序に並べ替えてください。

QUESTION

☐ Store the database encryption key in KV1.
☐ Create a customer-managed key.
☐ Store the customer-managed key in KV1.
☐ Create a data encryption key.
☐ Create Container1.



Microsoft

正解:

Actions	Answer Area
☐ Store the database encryption key in KV1.	☐ Create a customer-managed key.
☐ Create a customer-managed key.	☐ Store the customer-managed key in KV1.
☐ Store the customer-managed key in KV1.	☐ Create a data encryption key.
☐ Create a data encryption key.	☐ Create Container1.
☐ Create Container1.	

Explanation:

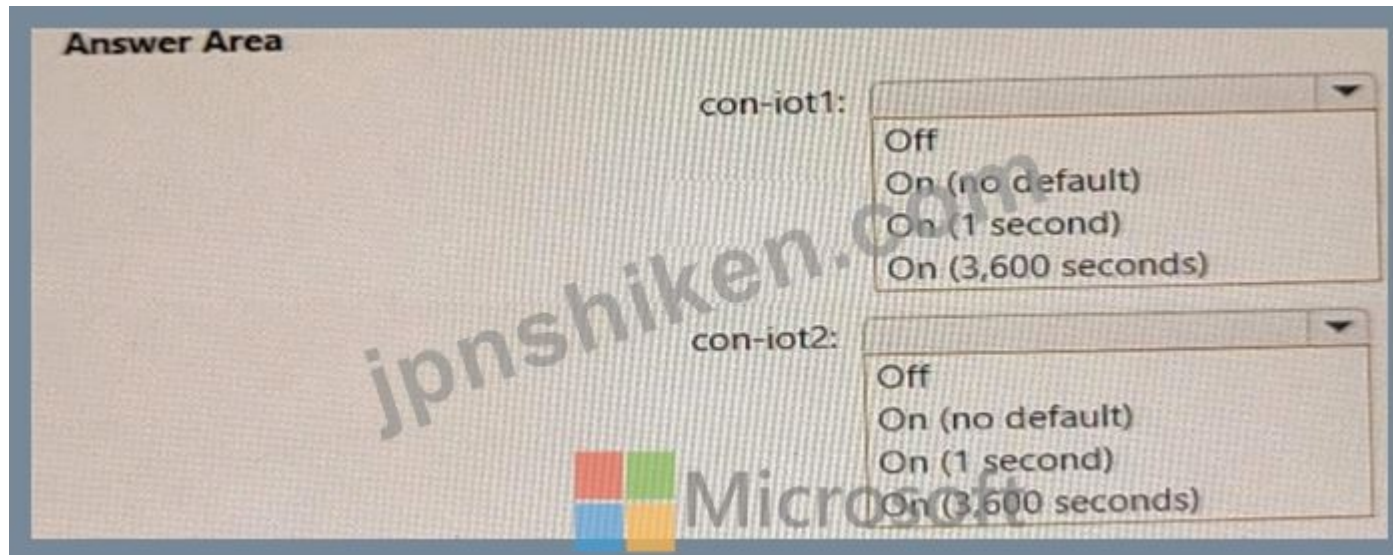
Actions	Answer Area
☐ Store the database encryption key in KV1.	1 ☐ Create a customer-managed key.
	2 ☐ Store the customer-managed key in KV1.
	3 ☐ Create a data encryption key.
	4 ☐ Create Container1.

質問: 68

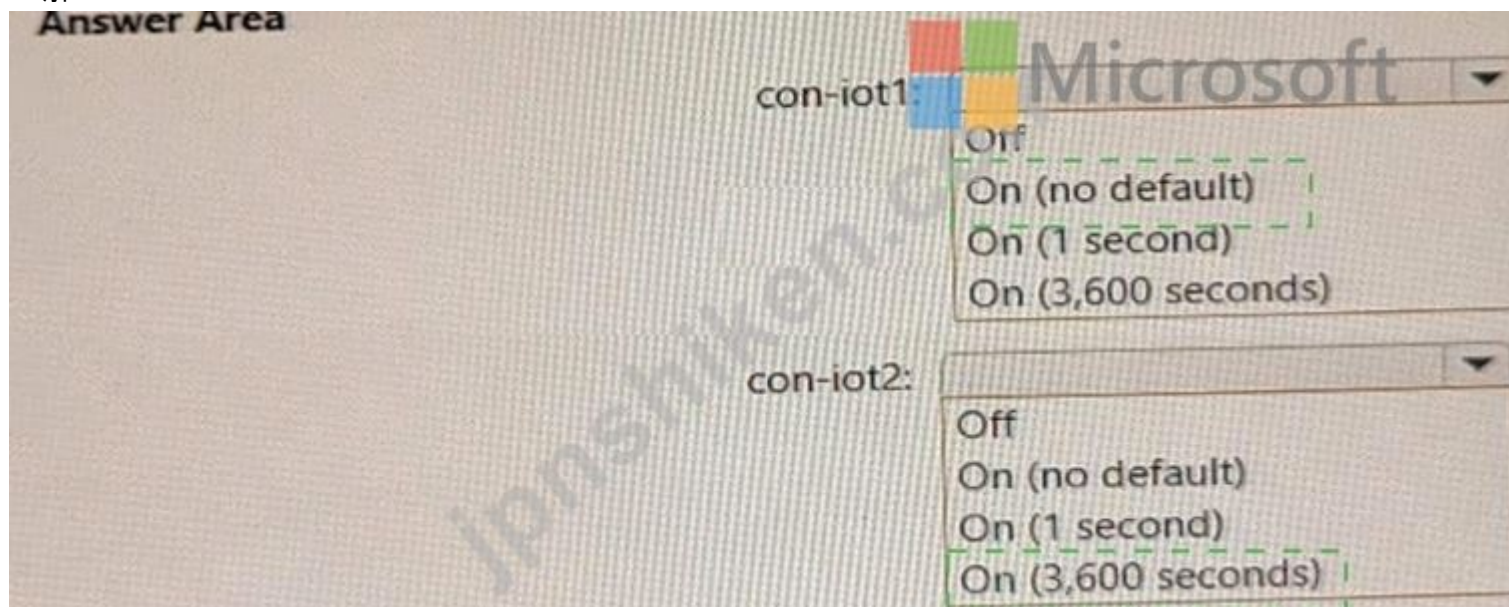
con-iot1 と con-iot2 を実装する予定です。

各コンテナのデフォルトの存続期間設定を構成する必要があります。ソリューションは、IoT テレメトリ要件を満たしている必要があります。

何を設定すればよいでしょうか?回答するには、回答内の適切な選択肢を選択してください。注: 正しい選択肢はそれぞれ 1 ポイントの価値があります。



正解:



Explanation:

Box 1 =On (no default)

For con-iot1, you need to configure the default TTL setting to On (no default), which means that items in this container do not expire by default, but you can override the TTL value on a per-item basis. This meets the requirement of retaining all telemetry data unless overridden¹.

Box 2 = On (3600 seconds)

For con-iot2, you need to configure the default TTL setting to On (3600 seconds), which means that items in this container will expire 3600 seconds (one hour) after their last modified time. This meets the requirement of deleting all telemetry data older than one hour¹.

質問: 69

次のクエリがあります。

```
SELECT * FROM #
```

```
WHERE c.sensor = "TEMP1"
```

```
AND c.value < 22
```

```
AND c.timestamp >= 1619146031231
```

クエリによって消費されるリクエスト ユニット (RU) を最小限に抑える複合インデックス戦略を推奨する必要があります。

何をお勧めすればいいでしょうか？

- A.** (センサーASC、値ASC)の複合インデックスと(センサーASC、タイムスタンプASC)の複合インデックス
- B.** (センサー ASC、値 ASC、タイムスタンプ ASC) の複合インデックスと (センサー DESC、値 DESC、タイムスタンプ DESC) の複合インデックス
- C.** (値 ASC、センサー ASC) の複合インデックスと (タイムスタンプ ASC、センサー ASC) の複合インデックス
- D.** (センサーASC、値ASC、タイムスタンプASC)の複合インデックス

正解: **A** ([コメントを发表する](#))

If a query has a filter with two or more properties, adding a composite index will improve performance.

Consider the following query:

```
SELECT * FROM c WHERE c.name = "Tim" and c.age > 18
```

In the absence of a composite index on (name ASC, and age ASC), we will utilize a range index for this query. We can improve the efficiency of this query by creating a composite index for name and age.

Queries with multiple equality filters and a maximum of one range filter (such as >, <, <=, >=, !=) will utilize the composite index.

Reference: <https://azure.microsoft.com/en-us/blog/three-ways-to-leverage-composite-indexes-in-azure-cosmos-db/>

質問: 70

中小企業 (SMB) のディレクトリ用のデータ ストアを作成する必要があります。データ ストアは次の要件を満たす必要があります。

※店舗企業とそれに雇用されるユーザー。各企業のユーザー数は 1,000 人未満になります。

※一部のユーザーは2KBを超えるデータを持っています。

* 各ユーザーを 1 つの会社だけにのみ関連付けます。

* 会社ごとに閲覧する機能を提供します。

* 企業ごとにユーザーを参照する機能を提供します。

* 会社またはユーザー プロファイルが選択されるたびに、会社とすべての関連ユーザーの詳細ページが表示されます。

* データの読み取りに最適化されています。

データの読み取り用にデータ ストアを最適化するには、どの設計を実装する必要がありますか？

A. ディレクトリ コンテナに、会社ごとにドキュメントとユーザーごとにドキュメントを作成します。会社 ID をパーティション キーとして使用します。

B. 会社コンテナで、会社ごとにドキュメントを作成します。ユーザーを会社のドキュメントに埋め込みます。会社 ID をパーティション キーとして使用します。

C. ユーザー ID をパーティション キーとして使用するユーザー コンテナと、会社 ID をパーティション キーとして使用する会社コンテナを作成します。各ユーザー文書に企業 ID を追加します。

D. ユーザー コンテナで、ユーザーごとにドキュメントを作成します。各ユーザードキュメントに会社を埋め込みます。ユーザー ID をパーティション キーとして使用します。

正解: ([正解を表示します](#))

Azure Cosmos DB is a multi-model database that supports various data models, such as documents, key-value, graph, and column-family ³ . The core content-model of Cosmos DB's database engine is based on atom-record- sequence (ARS), which allows it to store and query different types of data in a flexible and efficient way ³ .

To optimize the data store for reading data, you should consider the following factors:

* The size and shape of your data

* The frequency and complexity of your queries

* The latency and throughput requirements of your application

* The trade-offs between storage efficiency and query performance

Based on these factors, one possible design that you could implement is B. In a company container, create a document for each company. Embed the users into company documents. Use the company ID as the partition key .

This design has the following advantages:

* It stores companies and users as self-contained documents that can be easily retrieved by company ID ¹

.

- * It avoids storing redundant data or creating additional containers for users 1 .
- * It allows you to browse by company and browse the users by company with simple queries 1 .
- * It shows a details page for the company and all the related users by fetching a single document 1 .
- * It leverages the benefits of embedding data, such as reducing the number of requests , improving query performance, and simplifying data consistency 2 .

This design also has some limitations, such as:

- * It may not be suitable for some users who have data that is greater than 2 KB, as it could exceed the maximum document size limit of 2 MB 2 .
- * It may not be optimal for scenarios where users need to be associated with more than one company or queried independently from companies 2 .
- * It may not be scalable for companies that have more than 1,000 users, as it could result in hot partitions or throttling 2 .

Depending on your specific use case and requirements, you may need to adjust this design or choose a different one. For example, you could use a hybrid data model that combines embedding and referencing data

2 , or you could use a graph data model that expresses entities and relationships as vertices and edges.

質問: 71

DB1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL データベースがあり、その中に Contained という名前のコンテナがあります。

Container! のパーティションキーは /city です。

あなたは、DB1 に顧客情報を保存する App1 という名前のクラウドネイティブアプリを開発しています。App1 はトランザクションバッチ操作を実行して、Contained 内のアイテムを更新します。

App1を以下の要件を満たすように設定する必要があります。

* アイテムのETag値が最後に読み取られてから変更された場合は、バッチ操作がロールバックされるようにしてください。

バッチ内のすべての操作が単一のパーティションキー値に適用されることを確認してください。

C#コードをどのように完成させるべきですか？回答するには、回答欄で適切なオプションを選択してください。

注：正解ごとに1ポイントが加算されます。

Answer Area

```
using Microsoft.Azure.Cosmos;  
using System;  
using System.Threading.Tasks;  
namespace CosmosBatch
```

```
{  
    public class Program  
    {  
        public static async Task Main(string[] args)  
        {  
            CosmosClient client = new CosmosClient("<account  
            Container container = client.GetContainer("db1",  
            // Ensure transaction applies to a single partition.  
            TransactionalBatch batch = await batch.ExecuteAsync(new TransactionalBatchRequestOptions  
            batch.UpsertItem(new { id = "1", city = "London" });  
            // Ensure rollback if ETag value changes  
            container.CreateTransactionalBatch(new PartitionKey  
        }  
    }  
}
```



Microsoft

```
using Microsoft.Azure.Cosmos;  
using System;  
using System.Threading.Tasks;  
namespace CosmosBatch  
{  
    public class Program  
    {  
        public static async Task Main(string[] args)  
        {  
            CosmosClient client = new CosmosClient("<account endpoint>", "<account key>");  
            Container container = client.GetContainer("db1",  
            // Ensure transaction applies to a single partition.  
            TransactionalBatch batch = await batch.ExecuteAsync(new TransactionalBatchRequestOptions  
            batch.UpsertItem(new { id = "1", city = "London" });  
            // Ensure rollback if ETag value changes  
            container.CreateTransactionalBatch(new PartitionKey  
        }  
    }  
}
```

```
("London"));  
(city));  
("/city));  
("London));
```

```
{IfMatching = "etag1"});
```

```
{ IfNoneMatchEtag = "etag1" });
```

```
{ IfNoneMatchEtag = "etag1", EnableContentResponseOnWrite = false });
```

正解:

Answer Area

```
using Microsoft.Azure.Cosmos;  
using System;  
using System.Threading.Tasks;  
namespace CosmosBatch
```

```
{  
    public class Program  
    {  
        public static async Task Main(string[] args)  
        {  
            CosmosClient client = new CosmosClient("<account endpoint>", "<account key>");  
            Container container = client.GetContainer("db1", "collection1");  
            // Ensure transaction applies to a single partition.  
            TransactionalBatch batch = await batch.ExecuteAsync(new TransactionalBatchRequestOptions  
            {  
                IfMatching = "etag1";  
                IfNoneMatchEtag = "etag1";  
                IfNoneMatchEtag = "etag1", EnableContentResponseOnWrite = false  
            });  
            batch.UpsertItem(new { id = "1", city = "London" });  
            // Ensure rollback if ETag value changes  
            container.CreateTransactionalBatch(new PartitionKey  
            {  
                ("London");  
                ("city");  
                ("/city");  
                ("London");  
            })  
        }  
    }  
}
```

```
using Microsoft.Azure.Cosmos;  
using System;  
using System.Threading.Tasks;  
namespace CosmosBatch
```

```
{  
    public class Program  
    {  
        public static async Task Main(string[] args)  
        {  
            CosmosClient client = new CosmosClient("<account endpoint>", "<account key>");  
            Container container = client.GetContainer("db1", "collection1");  
            // Ensure transaction applies to a single partition.  
            TransactionalBatch batch = await batch.ExecuteAsync(new TransactionalBatchRequestOptions  
            {  
                IfMatching = "etag1";  
                IfNoneMatchEtag = "etag1";  
                IfNoneMatchEtag = "etag1", EnableContentResponseOnWrite = false  
            });  
            batch.UpsertItem(new { id = "1", city = "London" });  
            // Ensure rollback if ETag value changes  
            container.CreateTransactionalBatch(new PartitionKey  
            {  
                ("London");  
                ("city");  
                ("/city");  
                ("London");  
            })  
        }  
    }  
}
```

Explanation:

Answer Area

```
using Microsoft.Azure.Cosmos;

using System;

using System.Threading.Tasks;

namespace CosmosBatch
{
    public class Program
    {
        public static async Task Main(string[] args)
        {
            CosmosClient client = new CosmosClient("<account endpoint>", "<account key>");
            Container container = client.GetContainer("db1", "collection1");
            // Ensure transaction applies to a single partition.
            TransactionalBatch batch = await batch.ExecuteAsync(new TransactionalBatchRequestOptions { IfMatchEtag = "etag1" });
            batch.UpsertItem(new { id = "1", city = "London" });
            // Ensure rollback if ETag value changes
            container.CreateTransactionalBatch(new PartitionKey ("London"));
        }
    }
}
```

質問: 72

account1 という名前の Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントがあります。

次の表に示す Azure 仮想ネットワークとサブネットがあります。

Subnet	Network	IP address range	Virtual machine
subnet1	vnet1	10.0.0.0/24	VM1
subnet2	vnet1	10.0.1.0/24	VM2
subnet3	vnet2	10.1.0.0/24	VM3

vnet1 ネットワークと vnet2 ネットワークは、仮想ネットワーク ピアを使用して接続されます。

account1 のファイアウォールと仮想ネットワークの設定は、図に示すように構成されています。

Allow access from  **Microsoft**

☐ All networks ☒ Selected networks

Configure network security for your Azure Cosmos DB account. [Learn more.](#)

Virtual networks
Secure your Azure Cosmos DB account with virtual networks. [+ Add existing virtual network](#) [+Add new virtual network](#)

Virtual Network	Subnet	Address range	Endpoint Status
✓ vnet1	1	10.0.0.0/16	
	vnet1.subnet1	10.0.1.0/24	✓ Enabled

Firewall
Add IP ranges to allow access from the internet or your on-premises networks. [+Add my current IP](#) ⓘ

IP(Single IPv4 or CIDR range)

Exceptions

☐ Accept connections from within public Azure datacenters ⓘ

☒ Allow access from Azure Portal ⓘ

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Statements  Microsoft	Yes	No
VM1 can access account 1	☐	☐
VM2 can access account 1	☐	☐
VM3 can access account 1	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
VM1 can access account 1	☒	☐
VM2 can access account 1	☐	☒
VM3 can access account 1	☐	☒

Explanation:

Statements	Yes	No
VM1 can access account 1	☒	☐
VM2 can access account 1	☐	☒
VM3 can access account 1	☐	☒

Box 1: Yes

VM1 is on vnet1.subnet1 which has the Endpoint Status enabled.

Box 2: No

Only virtual network and their subnets added to Azure Cosmos account have access. Their peered VNets cannot access the account until the subnets within peered virtual networks are added to the account.

Box 3: No

Only virtual network and their subnets added to Azure Cosmos account have access.

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/how-to-configure-vnet-service-endpoint>

質問: 73

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントには、IoT データを保存する telemetry という名前のデータベースがあります。

データベースには、readings と devices という名前の 2 つのコンテナが含まれています。

読み物の文書は次のような構造になっています。

ID

デバイスID

タイムスタンプ

所有者

メジャー (配列)

- タイプ

- 価値

- メトリックID

デバイス内のドキュメントは次の構造になっています。

ID

デバイスID

所有者

- 所有者

- 電子メールアドレス

- 名前

ブランド

モデル

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、「いいえ」を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Statements	Yes	No
To return for all devices owned by a specific emailaddress, multiple queries must be performed	☐	☐
To return deviceid, ownerid, timestamp, and value for a specific metricid, a join must be performed	☐	☐
To return deviceid, ownerid, emailaddress, and model, a join must be performed	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
To return for all devices owned by a specific emailaddress, multiple queries must be performed	☒	☐
To return deviceid, ownerid, timestamp, and value for a specific metricid, a join must be performed	☐	☒
To return deviceid, ownerid, emailaddress, and model, a join must be performed	☐	☒

Explanation:

Statements	Yes	No
To return for all devices owned by a specific emailaddress, multiple queries must be performed	☐	☐
To return deviceid, ownerid, timestamp, and value for a specific metricid, a join must be performed	☐	☒
To return deviceid, ownerid, emailaddress, and model, a join must be performed	☐	☒

Box 1: Yes

Need to join readings and devices.

Box 2: No

Only readings is required. All required fields are in readings.

Box 3: No

Only devices is required. All required fields are in devices.

質問: 74

DB1 という名前のデータベースと Container1 という名前のコンテナを含む Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあります。Azure Cosmos DB SDK を使用してアカウントを管理する必要があります。どうすればよいでしょうか。

- A. Container1 の物理パーティションを一覧表示します。
- B. DB1 にコンテナを作成します。
- C. Container1 内のストアド プロシージャを読み取ります。
- D. Container1 にユーザ定義関数 (UDF) を作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 75

NoSQL データベースに Azure Cosmos DB を使用する App1 という名前のアプリがあります。

App1 では、次の表に示す空間列を使用します。

Name	Data type
Col1	Point
Col2	LineString
Col3	Curve
Col4	MultiPolygon
Col5	MultiCurve

App1 のインデックス戦略を設計する必要があります。

空間インデックスを使用してインデックスを作成できる列はどれですか？

- A. Col1、Col2、Col3のみ
- B. 列1のみ
- C. Col1 と Col2 のみ

D. Col1、Col2、および Col4 のみ

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 76

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントを含む Azure サブスクリプションがあります。次の C# コードを使用して、暗号化ポリシーを定義および実装します。

```
if (taxIdPath = new ClientEncryptionIncludedPath

    Path = "/taxId",
    ClientEncryptionKeyId = "cek1",
    EncryptionType = EncryptionType.Deterministic.ToString(),
    EncryptionAlgorithm = DataEncryptionAlgorithm.AeadAes256CbcHmacSha256
;

if (creditCardPath = new ClientEncryptionIncludedPath

    Path = "/creditCard",
    ClientEncryptionKeyId = "cek1",
    EncryptionType = EncryptionType.Randomized.ToString(),
    EncryptionAlgorithm = DataEncryptionAlgorithm.AeadAes256CbcHmacSha256
;

var database = database.DefineContainer("customers", "/customerID")
    .WithClientEncryptionPolicy()
    .WithIncludedPath(taxIdPath)
    .WithIncludedPath(creditCardPath)
    .Attach()
.CreateAsync();
```

次の各文について、正しい場合は「はい」を選択し、そうでない場合は「いいえ」を選択します。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Statements	Yes	No
Queries can retrieve items from the Customers container by using the taxId field.	☐	☐
If two customers have the same credit card value, the encrypted fields will contain the same value.	☐	☐
The Customers container is created if the container does NOT exist. If the container exists, the policy of the container is updated.	☐	☐

正解:

Answer Area

Statements	Yes	No
Queries can retrieve items from the Customers container by using the taxId field.	☒	☐
If two customers have the same credit card value, the encrypted fields will contain the same value.	☐	☒
The Customers container is created if the container does NOT exist. If the container exists, the policy of the container is updated.	☐	☒

Explanation:

Answer Area

Statements	Yes	No
Queries can retrieve items from the Customers container by using the taxId field.	☒	☐
If two customers have the same credit card value, the encrypted fields will contain the same value.	☐	☒
The Customers container is created if the container does NOT exist. If the container exists, the policy of the container is updated.	☐	☒

有効的な**DP-420J**問題集はJPNTTest.com提供され、**DP-420J**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**DP-420J**試験問題集を提供します。JPNTTest.com DP-420J試験問題集はもう更新されました。ここで**DP-420J**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/DP-420J-mondaishu> 281問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 77

10 個の Web アプリで使用される Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントがあります。

Apache Spark を使用してアカウントに保存されているデータを分析し、機械学習モデルを作成する必要があります。

ソリューションは Web アプリのパフォーマンスに影響を与えてはなりません。

どの 2 つのアクションを実行する必要がありますか?それぞれの正解は、解決策の一部を示しています。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

A. Azure Synapse の Apache Spark プールで、cosmos.olap をデータ ソースとして使用するテーブルを作成します。

B. アカウントへのプライベート エンドポイント接続を作成します。

C. Azure Synapse Analytics サーバーレス SQL プールで、OPENROWSET と CosmosDB プロバイダーを使用するビューを作成します。

D. コンテナ上のアカウントと分析ストアに対して Azure Synapse Link を有効にします。

E. Azure Synapse の Apache Spark プールで、cosmos.oltp をデータ ソースとして使用するテーブルを作成します。

正解: ([正解を表示します](#))

Reference:

<https://github.com/microsoft/MCW-Cosmos-DB-Real-Time-Advanced-Analytics/blob/main/Hands-on%20lab/HOL%20step-by%20step%20-%20Cosmos%20DB%20real-time%20advanced%20analytics.md>

質問: 78

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントにコンテナがあります。

オプティミスティック同時実行を使用してドキュメントを置き換えるには、Azure Cosmos DB SDK を使用する必要があります。

コードには何を含めるべきでしょうか?回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

The screenshot shows a question interface with two dropdown menus. The first dropdown is labeled "RequestOptions property to set:" and contains the options "AccessCondition", "ConsistencyLevel", and "SessionToken". The second dropdown is labeled "Document property that will be compared:" and contains the options "_etag", "_id", and "_rid".

正解:

The screenshot shows the correct answer interface. The first dropdown menu, labeled "RequestOptions property to set:", has "ConsistencyLevel" selected, which is highlighted with a green dashed box. The second dropdown menu, labeled "Document property that will be compared:", has "_etag" selected, which is also highlighted with a green dashed box.

Explanation:

RequestOptions property to set:

Document property that will be compared:

AccessCondition
ConsistencyLevel
SessionToken

_etag
_id
_rid

Box 1: ConsistencyLevel

The ItemRequestOptions Class ConsistencyLevel property gets or sets the consistency level required for the request in the Azure Cosmos DB service.

Azure Cosmos DB offers 5 different consistency levels. Strong, Bounded Staleness, Session, Consistent Prefix and Eventual - in order of strongest to weakest consistency.

Box 2: _etag

The ItemRequestOptions class helped us implement optimistic concurrency by specifying that we wanted the SDK to use the If-Match header to allow the server to decide whether a resource should be updated. The If- Match value is the ETag value to be checked against. If the ETag value matches the server ETag value, the resource is updated.

Reference:

<https://docs.microsoft.com/en-us/dotnet/api/microsoft.azure.cosmos.itemrequestoptions>

<https://cosmosdb.github.io/labs/dotnet/labs/10-concurrency-control.html>

質問: 79

Azure サブスクリプションをお持ちです。

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに次のリソースをデプロイする必要があります。

* コンテナ

* ユーザー定義関数 (UDF)

ソリューションでは、デプロイメントが失敗する可能性を最小限に抑える必要があります。

テンプレートをどのように完成させるべきですか? 回答するには、回答領域で適切なオプションを選択してください。

注意: 正しい選択ごとに 1 ポイントが付与されます。

Answer Area

```
{
  "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases/containers/userDefinedFunctions",
  "apiVersion": "2022-05-15",
  "contentVersion": "1.0.0",
  "version": "1.0.0",
  "resource": {
    "id": "udfincometax",
    "body": "function tax(income){if(income<1000)return income*0.1;else return income*0.4;}"
  },
  "dependsOn": [
    "[resourceId('Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases/containers', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName')), 'udfincometax']"
  ],
  "outputs": {},
  "reference": {}
}
```

正解:

Answer Area

```
{
  "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases/containers/userDefinedFunctions",
  "apiVersion": "2022-05-15",
  "contentVersion": "1.0.0",
  "version": "1.0.0",
  "resource": {
    "id": "udfincometax",
    "body": "function tax(income){if(income<1000)return income*0.1;else return income*0.4;}"
  },
  "dependsOn": [
    "[resourceId('Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases/containers', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName')), 'udfincometax']"
  ],
  "outputs": {},
  "reference": {}
}
```

Explanation:

```
Answer Area

{
  "type": "Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases/containers/userDefinedFunctions",
  "apiVersion": "2022-05-15",
  "name": "[format('{0}/{1}/{2}/{3}', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName'), parameters('containerName'), 'udfincometax')]",
  "properties": {
    "resource": {
      "id": "udfincometax",
      "body": "function tax(income){if(income<100)return income*0.1;else return income*0.4;}"
    },
    "dependsOn": [ "[resourceId('Microsoft.DocumentDB/databaseAccounts/sqlDatabases/containers', toLower(parameters('accountName')), parameters('databaseName'), parameters('containerName'), 'udfincometax')]" ]
  }
}
```

質問: 80

App1 という名前のアプリケーションで使用する Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントがあります。
アカウントの [インサイト] ペインを開くと、次のグラフが表示されます。



ドロップダウンメニューを使用して、図に示されている情報に基づいて各質問に答える回答の選択肢を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

The HTTP 404 status code is caused by [answer choice]

incorrect connection URLs
an intermittent firewall issue
incorrectly formatted partition keys
requesting resources that do not exist

There are [answer choice] successful resource creations in the account during the time period of the chart

zero
6 thousand
6.01 thousand
30.03 thousand
36.03 thousand

正解:

The HTTP 404 status code is caused by [answer choice]

incorrect connection URLs
an intermittent firewall issue
incorrectly formatted partition keys
requesting resources that do not exist

There are [answer choice] successful resource creations in the account during the time period of the chart

zero
6 thousand
6.01 thousand
30.03 thousand
36.03 thousand

Explanation:

The HTTP 404 status code is caused by [answer choice]

	▼
incorrect connection URLs	
an intermittent firewall issue	
incorrectly formatted partition keys	
requesting resources that do not exist	

There are [answer choice] successful resource creations in the account during the time period of the chart

	▼
zero	
6 thousand	
6.01 thousand	
30.03 thousand	
36.03 thousand	

Box 1: incorrect connection URLs

400 Bad Request: Returned when there is an error in the request URI, headers, or body. The response body will contain an error message explaining what the specific problem is.

The HyperText Transfer Protocol (HTTP) 400 Bad Request response status code indicates that the server cannot or will not process the request due to something that is perceived to be a client error (for example, malformed request syntax, invalid request message framing, or deceptive request routing).

Box 2: 6 thousand

201 Created: Success on PUT or POST. Object created or updated successfully.

Note:

200 OK: Success on GET, PUT, or POST. Returned for a successful response.

404 Not Found: Returned when a resource does not exist on the server. If you are managing or querying an index, check the syntax and verify the index name is specified correctly.

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/rest/api/searchservice/http-status-codes>

質問: 81

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントがあります。アカウントは、変更フィードが有効になっているコンテナをホストしています。Azure Cosmos DB SDK を使用してアプリを構築しています。アプリは、プル モデルを使用して変更フィードから項目を読み取ります。複数のスレッドが変更フィードを並行して読み取ることができるようにする必要があります。何を含める必要がありますか？

- A. ページサイズの値
- B. ストリームベースのイテレータ
- C. changeFeedStartFew 値
- D. FeedRange値

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 82

account1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントを含む Azure サブスクリプションがあります。

account1 のバックアップの構成は次のとおりです。

* 間隔: 2時間

* 保存期間: 4日間

バックアップの保持に関連する料金を見積もる必要があります。バックアップのコピーがいくつあると追加料金が発生しますか？

A. 12

- B. 48
 - C. 8
 - D. 46
- 正解: (正解を表示します)

質問: 83

注: この質問は、同じシナリオを示す一連の質問の一部です。このシリーズの各質問には、指定された目標を達成できる可能性のある独自の解決策が含まれています。一部の質問セットには複数の正しい解決策が含まれる場合がありますが、他の質問セットには正しい解決策がない場合があります。

このセクションの質問に回答すると、その質問に戻ることはできません。そのため、これらの質問はレビュー画面には表示されません。

自動スケール スループットを使用する、アカウント 1 という名前の Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントがあります。

account1 のコンテナの 1 秒あたりの正規化された要求ユニットが特定の値を超えた場合は、Azure 関数を実行する必要があります。

解決策: 変更フィード プロセッサを使用して変更フィードを読み取るようにアプリケーションを構成し、関数をトリガーするようにアプリケーションを構成します。

これは目標を達成していますか？

- A. はい
 - B. いいえ
- 正解: B (コメントを發表する)

Instead configure an Azure Monitor alert to trigger the function.

You can set up alerts from the Azure Cosmos DB pane or the Azure Monitor service in the Azure portal.

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/create-alerts>

質問: 84

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントでデータベースを作成しています。このデータベースは、オンライン投稿を共有する機能をユーザーに提供するアプリケーションによって使用されます。ユーザーは他のユーザーの投稿にコメントを送信することもできます。

次の表に示すデータを保存する必要があります。

Type	Description
Users	Information about a user who will use the application
Posts	Text of up to 1,000 characters that a user will share with other users
Comments	Text of up to 280 characters that users will submit as a comment on a post
Interests	Information about a user’s interests

このアプリケーションには次のような特徴があります。

ユーザーは無制限に投稿を投稿できます。

ユーザーが投稿する平均投稿数は 1,000 件を超えます。

投稿には、さまざまなユーザーからのコメントを無制限に含めることができます。

投稿ごとの平均コメント数は 100 ですが、多くの投稿は 1,000 コメントを超えます。

ユーザーは最大 20 の関心事を持つことができます。

次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ] を選択します。
注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Microsoft Statements	Yes	No
If you embed the posts data into the users data instead of creating a separate document for each post, you will increase the write operation costs for new posts	☐	☐
If you embed the comments data into the posts data instead of creating a separate document for each comment you will increase the write operation costs for new comments	☐	☐
If you embed the interests data into the users data instead of creating a separate document for each interest, you will increase the read operation costs for displaying the users and their associated interests	☐	☐

正解:

Statements	Yes	No
If you embed the posts data into the users data instead of creating a separate document for each post, you will increase the write operation costs for new posts	☒	☐
If you embed the comments data into the posts data instead of creating a separate document for each comment you will increase the write operation costs for new comments	☒	☐
If you embed the interests data into the users data instead of creating a separate document for each interest, you will increase the read operation costs for displaying the users and their associated interests	☐	☒

Explanation:

Statements



Microsoft

Yes

No

If you embed the posts data into the users data instead of creating a separate document for each post, you will increase the write operation costs for new posts

☒☐

If you embed the comments data into the posts data instead of creating a separate document for each comment you will increase the write operation costs for new comments

☐☐

If you embed the interests data into the users data instead of creating a separate document for each interest, you will increase the read operation costs for displaying the users and their associated interests

☐☒

Box 1: Yes

Non-relational data increases write costs, but can decrease read costs.

Box 2: Yes

Non-relational data increases write costs, but can decrease read costs.

Box 3: No

Non-relational data increases write costs, but can decrease read costs.

質問: 85

Azure Cosmos DB Core (SQL) API アカウントにデータを保存するアプリがあります。このアプリは、大きな結果セットを返すクエリを実行します。

ページネーションを使用して、完全な結果セットをアプリに返す必要があります。結果の各ページは 80 項目を返す必要があります。

どの 3 つのアクションを順番に実行する必要がありますか? 回答するには、アクションのリストから適切なアクションを回答領域に移動し、正しい順序で並べます。

Actions

Answer Area

Configure MaxItemCount in QueryRequestOptions

Run the query and provide a continuation token

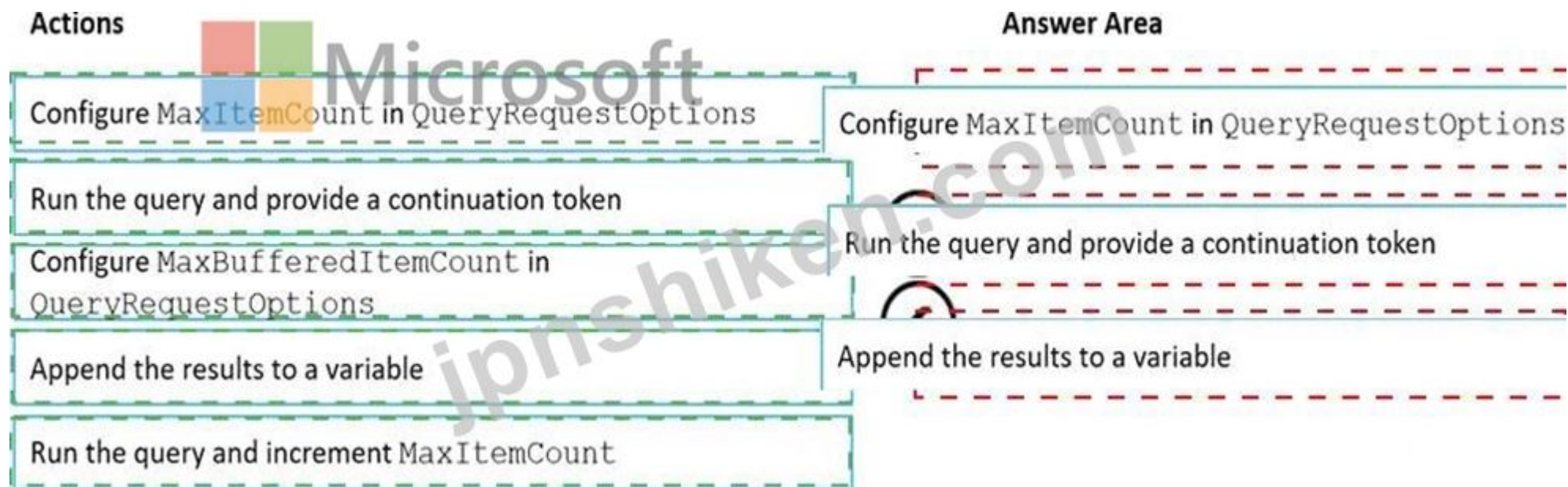
Configure MaxBufferedItemCount in QueryRequestOptions

Append the results to a variable

Run the query and increment MaxItemCount



正解:



Explanation:



Step 1: Configure the MaxItemCount in QueryRequestOptions

You can specify the maximum number of items returned by a query by setting the MaxItemCount. The MaxItemCount is specified per request and tells the query engine to return that number of items or fewer.

Box 2: Run the query and provide a continuation token

In the .NET SDK and Java SDK you can optionally use continuation tokens as a bookmark for your query 's progress. Azure Cosmos DB query executions are stateless at the server side and can be resumed at any time using the continuation token.

If the query returns a continuation token, then there are additional query results.

Step 3: Append the results to a variable

Reference: <https://docs.microsoft.com/en-us/azure/cosmos-db/sql/sql-query-pagination>

質問: 86

Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに含まれる という名前のコンテナがあります。

以下は、container1 内のドキュメントのサンプルです。

```
{
  "studentId": "631282"
  "firstName": "James",
  "lastName": "Smith",
  "enrollmentYear": 1990,
  "isActivelyEnrolled": true,
  "address": {
    "street": "",
    "city": "",
    "stateProvince": "",
    "postal": ""
  }
}
```

The container1 container has the following indexing policy.

```
{
  "indexingMode": "consistent",
  "includedPaths": [
    {
      "path": "/"
    },
    {
      "path": "/address/city/?"
    }
  ],
  "excludedPaths": [
    {
      "path": "/address/"
    },
    {
      "path": "/firstname/?"
    }
  ]
}
```



次の各ステートメントについて、そのステートメントが true の場合は [はい] を選択します。それ以外の場合は、[いいえ]を選択します。

注: 正しく選択するたびに 1 ポイントの価値があります。

Answer Area



Statements

Yes

No

The /isActivelyEnrolled property is included in the index.

☐☐

The /firstname property is included in the index.

☐☐

The /address/city property is included in the index.

☐☐

正解:

Answer Area

Statements

Yes

No

The /isActivelyEnrolled property is included in the index.

☒☐

The /firstname property is included in the index.

☐☒

The /address/city property is included in the index.

☒☐

Explanation:

Answer Area	Microsoft	Statements	Yes	No
		The /isActivelyEnrolled property is included in the index.	☒	☐
		The /firstname property is included in the index.	☐	☒
		The /address/city property is included in the index.	☒	☐

質問: 87

アカウント 1 という名前の Azure Cosmos DB for NoSQL アカウントに db1 という名前のデータベースがあります。

Azure Stream Analytics を使用して、JSON データを db1 に書き込む必要があります。ソリューションではコストを最小限に抑える必要があります。

db1 を Stream Analytics の出力として使用する前に、何を行う必要がありますか？

- A. アカウントで、専用ゲートウェイを有効にします。
- B. db1 で、自動インデックス作成ポリシーと分析ストアが有効になっているコンテナを作成します。
- C. db1 で、カスタム インデックス作成ポリシーと分析ストアが無効になっているコンテナを作成します。
- D. アカウントで、プライベート エンドポイントを追加します。

正解: D ([コメントを发表する](#))

質問: 88

Azure Monitorを使用して監視されている、db1という名前のAzure Cosmos DB for NoSQLデータベースがあります。
最もスループットの高い操作を特定する必要があります。どの指標を使用すべきでしょうか？

- A. 自動スケーリング最大スループット
- B. データ使用量
- C. 合計リクエストユニット数
- D. インデックスの使用方法

正解: ([正解を表示します](#))

有効的な**DP-420J**問題集はJPNTTest.com提供され、**DP-420J**試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新**DP-420J**試験問題集を提供します。JPNTTest.com DP-420J試験問題集はもう更新されました。ここで**DP-420J**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/DP-420J-mondaishu> **281**問、**30%ディスカウント**、特別な割引コード: **JPNshiken**」